〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

夕刊　五月六日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

日滿銑鐵の一元化
内地側現地方針諒解
武部日滿商事社長近く上京の上 新共販設立具體化を急ぐ

【東京國通】日滿銑鋼一元化問題は内地、滿洲現地側の對立となり

頓挫

の已むなきに至つてゐるが、滿洲國政府ならびに滿鐵では最近の鐵鋼飢饉が滿洲現地における軍事産業開發的諸事業の進歩を著しく阻害しつゝある現狀を重視し、日滿銑鋼販賣機構の根本的建直しは焦眉の急を要するので、上京中の松岡滿鐵總裁は現地側の意向に基き、伍堂商相をはじめ關係各方面の右打開策につき懇談を重ねてゐたが、大體滿洲側のイデオロギーを諒承した、よつて滿洲側では武部日滿商事社長を近く上京せしめ新共販設立具體化を急ぐことゝなつた、すなはちさきの共販會社決裂の理由は滿洲側の提案に對し、内地側がメーカー以外に共販加入を拒否したにも拘らず日鐵がその販賣部をしてこれに當らしめてゐる一方昭和製鋼は現在販賣部を日滿商事に包括移譲してゐる對立的立場にあつたゝめで、滿洲側としては日滿商事をして昭和製鋼ならびに本溪湖の鋼材銑鐵の一元的販賣機關たらしめるより徑はないと力説、これに對し關係各方面も右現地側の理由を大體諒とし、日滿兩國の銑鐵自給一體として考究すべしとする根本方針には兩者なら

異議

がないので新共販會社は日滿商事と日鐵との折半出資による機構に落着くものと思はれる

陸軍の鐵節約
六千六百噸と決定

【東京國通】鐵飢饉に鑑み過般の閣議で各省ともに出來る限り鐵の消費を節約することを申し合せたので、陸軍では爾來節約の方法について鋭意研究中のところ五日兵器關係の分はその性質上當然豫定通り使用するが兵器に關係なき建築材料その他の鐵本年度消費豫定量二萬二千噸のうち三割即ち六千六百噸を節約することに決定した

物價對策委員會
規定正式決定
政府、理由を公表

【東京國通】物價高抑壓のため政府が今回設置することに決定した物價對策委員會の規程左の如し

臨時物價對策委員會規程

第一條　臨時物價對策委員會は内閣總理大臣の監督に屬し關係各大臣の諮問に應じて物價對策に關する重要事項を調査審議す

第二條　委員會は會長一名、副會長三名及び委員廿名をもつてこれを組織す、特別の事項を調査審議するため特に必要あるときは特別委員を置くことを得

第三條　會長は内閣總理大臣をもつてこれに充つ、副會長は大藏大臣、農林大臣及び商工大臣をもつてこれに充つ、委員及び特別委員は關係各省高等官及び學識經驗ある者の内より内閣においてこれを命じ又は囑託す

（以下略）

理由　近時における我國の物價は世界的物價騰貴の影響と國内的原因と相俟つてその騰勢著しきものあり、この趨勢を放置するにおいては國民生活の不安を激發するは素より政府はその豫算、殊に軍需關係豫算の施行上甚しき困難に逢着すべし、更に國内物價の昂騰は輸入の增加を誘致すると共に輸出の伸張を阻害しもつて國際貸借を惡化せしめ惹いては我國產業經濟の健全なる發達を阻害するの憂ひなしとせず、よつて政府は速かに物價騰貴の原因を糾明しこれに對する有效適切なる對策を樹立し、以て非常時局に對する國策の遂行上遺憾なきを期せざるべからず、しかしてこれが爲には關係各廳官吏のほか學識經驗のある者をもつて委員會を組織し、愼重審議をなすの要あるによる

物價對策委員會
會長以下人選終る

【東京國通】政府は最近の物價騰貴の對策として物價對策委員會の設置を行ふことゝなつて藏、商、農三相の手許において研究中であつたが、五日の閣議において規程を決定、會長は林總理、副會長は結城藏相、伍堂商相、山崎農相が就任し、本委員は當分十七名とし大體の人選も終つたので一兩日中に本人に對して交渉を行ふことゝし、特別委員は廿一名以内とし、まづ司法、外務、文部を除く各省次官ならびに内務省社會局長官を任命し、今後必要ある毎に民間の學識經驗者を任命する豫定であるが、大體中旬に委員を決定、第一回の顔合せを行ふ方針である

後任東京市長
各派候補者

【東京國通】東京市長後任銓衡に關する第二回委員會は十日開かれるが、各派間で内定をみた候補者左の通り

革正會(民政系)　頼母木桂吉
社會大衆黨　安部磯雄
市政革新同盟　丸山鶴吉

兩陛下臨御下に
天覽大馬術

【東京國通】五月の風が大内山の新緑にわたる五日、晴れの天覽馬術は午後二時から舊本丸御馬場において天皇皇后兩陛下臨御のもとに行はせられた、午後一時五十分高松宮殿下をはじめ奉り各皇族殿下、杉山陸相以下陸軍將官陪觀者奉迎の裡に兩陛下御着席あらせられるや、西尾中將以下の第一班より十三班、馬場馬術、野外騎乘、障碍飛越等が進められたが、第九班近衛騎兵聯隊鈴木大尉指揮の各部隊、騎兵學校將校十名飛乘と御前に進み馬首をかへせばたちまち壯烈な野外騎乘佩刀を揃らせて突撃の喊聲とゝもに一齊に突進するとみるや假裝敵の標的に白刃一閃忽ちこれを殲滅して實戰をしのばせる壯烈なる人馬の神技に兩陛下にはいとも御興深く御覽あらせられた、續いて中島憲兵司令官等の大障碍飛越などの高等馬術の妙技を天覽に供し奉つた、かくて同三時半終了するや兩陛下には陪觀者、出場者一同に茶菓を賜ひ午後四時還幸啓あらせられた

遞信從業員同盟下谷支部員
昇給を要求

【東京國通】鐵道從業員と姉妹關係にある遞信廿萬從業員も過般來全國各地で待遇改善をさけんで動搖してゐたが、ついに五日午前都下遞信從業員同盟下谷支部員は下谷郵便局三階會議室に參集して昇給對策緊急委員會を開催、二割の昇給確保をさけんで不穩な形勢をみせてゐる

增永總督府法務局長一行日程

朝鮮總督府法務局長增永正一氏一行は七日京城發、哈爾濱牡丹江を經て十三日新京着、更に吉林、奉天、大連、旅順を視察する筈である

私財寄附の二氏に紺綬褒章下賜

【東京國通】長き變りでは社會公共事業のため多額の私財を寄附した左記二氏に對し五日左の如く紺綬褒章を下賜せられた

豊島作太郎(奉天市)
福本伊六(滿洲國政府)
紺綬褒章下賜(各通)

金買入價格
近く引上げか
池田日銀總裁の言注目さる

【東京國通】金現送による日銀正貨準備の補充策として近き將來において金買入れ價格引上げによる大藏省ならびに日銀當局の積極的産金奬勵策がとられるものと期待されてゐる折柄、五日池田日銀總裁はつぎの如く金買入れ價格引上げの妥當性に言及したことは頗る注目される

生產力擴充のためには金現送もまたやむ得ないところである、世上或ひは金現送の實施に對し非難するものもあらうが、目下最も緊切な問題とされる國防の充實經濟的國力の發展を期するにはこれが達成のために物資の輸入は是非とも必要でその結果金現送するの餘儀なきに至つたのは當然のことであると思ふ、金買入れ價格の變更については目下全然議題に上つてゐない、しかし現在の金買入れ價格算定の基礎については幾分諒解し得ない點があるやうだ、すなはち從來の方法は金の國際市價に若干のマーヂンを見積ることになつて殆どこうすることが當局の傳統的觀念とまでなつてゐるやうだが、自分は必ずしもかういふ觀念に捉はれる必要はないと思ふ、また最近米國では盛んに金買入れ價格引下げ説が行はれてゐるが、米國は金が多くて困つてゐるし、わが國は逆に金が少くて困つてゐるのだからその間大いに國情を異にしてゐるわけである

長は七日夜赴京、監督官廳に對し十一年度決算見透しにつき詳細報告の上種々打合せを行ふ筈

滿鐵既得鹽田開發に乘出す
傍系各社に工業鹽を自給

近海鹽の充實策に乘り出すに至つた大藏省專賣局では目下各方面と連絡、これが擴充工作に遺漏なきを期してゐる時我が大陸發展の原動力たる滿鐵でもこの傾向に滿鐵自體としての立場とその國家的使命に鑑みかねて關東州廳より同社に保留されてゐる鹽田適地四百町歩を愈よ早急に開發することとなつた模樣である即ち滿鐵では昭和十年自己並びに傍系各社の工業鹽を自給併せて鹽田適地を全面的に開發する一種のパイオニアたるの建前から特に州廳より四百町歩を自社の爲に保留され今日に及んで來たのであるが、荏苒日を空しうして開發の斧を下さないことは甚だ遺憾であるとして本年度より開發に乘り出すに至つた

大垣滿鐵經理部長近く來京

【大連國通】滿鐵大垣經理部

滿洲國學制附隨規程
原案作成着手

滿洲國學制は五月二日宣詔記念日の佳日をトして發表公布されたが文教部では引續き同學制に附隨する各學校規定、檢定規定、學校官制、教員身分令等の諸規定を制定すべくこれが原案作成に着手した

菅野庶務課長

滿鐵新京事務局庶務課長菅野誠氏は事務打合せのため六日午前十時發はとで奉天に出張した、なほ島秘書係主任と五日午後九時五十分の列車で大連に出張した

人事往來

着京

▲矢橋寧造氏(滿洲發明協會)五日來京ヤマトホテル
▲首藤治平氏(キリンビール)同
▲梅津理氏(會社員)同
▲ルーリヤー氏(獨乙經濟使節)同
▲ウ・ソー氏(同)同
▲三井權三郎氏(商)同
▲花坂長閑氏(會社員)同
▲森谷秀三郎氏(同)同
▲矢野元氏(機械商)同
▲家納正氏(會社員)同
▲池貝庄太郎氏(同)同
▲根本富士雄氏(同)同
▲佐藤寛次氏(東京帝大教授)同
▲山田隆一郎氏(滿鐵羅津出張所)同新京ホテル
▲長谷川稔氏(滿鐵)同
▲中島久次氏(同)同
▲岸原三郎氏(官吏)同滿蒙旅館
▲小笠隆夫氏(官吏)同
▲福井寛造氏(同)同
▲岩崎德志氏(丸山洋行)同
▲大友甲氏(滿鐵)同菱薬ホテル
▲鈴木隆司氏(同)同
▲渡邊義一氏 同國都ホテル
▲山縣喜久雄氏(鐵道省)同
▲國府田金次氏(同)同
▲横林文雄氏(同)同
▲濱野信一郎氏(同監察官)同
▲古野藤重氏(同)同

出發

▲片谷傳造氏 五日發奉天へ
▲松井命氏 同遼陽へ
▲藤塚止戈夫氏 同
▲高須一雄氏 同
▲宮崎三郎氏 同
▲岡田賢氏 同
▲山根卓三氏 同奉天へ
▲油井文市郎氏 同
▲玉田慶治氏 同
▲樽谷萬壽雄氏 同
▲濟川文彰氏 同
▲永吉由藏氏 同
▲高橋協氏 同ハルビンへ
▲細木繁氏 同
▲能勢潤三氏 同吉林へ
▲中山孝一氏 同承德へ
▲河村慶人氏 同農安へ
▲高橋新氏 同双陽へ
▲土田清三氏 同吉林へ
▲三宅清吉氏 同ハルビンへ
▲越路武氏 同
▲原田喜久氏 同大連へ
▲田原正一氏 同奉天へ
▲市川正俊氏 同ハルビンへ
▲佐古龍祐氏 同
▲岡本光三氏 同
▲田口義男氏 同鄭家屯へ
▲木村直雄氏 同釜山へ
▲大野寺龜氏 同奉天へ
▲友成達治氏 同
▲池上健一氏 同
▲前山淳一氏 同
▲白井龍氏 同
▲吉田義雄氏 同
▲杉浦守次郎氏 同吉林へ
▲野田武夫氏 同ハルビンへ
▲佐藤正八氏 同
▲藤生達雄氏 同
▲秋山貫岩氏 同安東へ
▲楠田謙三氏 同奉天へ

その日〱

□ 愈よ空の時代、民間航空の助成に大規模な人的養成は注目される

□ 滿洲國の郵便貯金が驚異的數字に達した、これは事態の落ちつきを反映する

□ 貿易は入超、しかし購買力增進を示すとあれば、悲觀することはない

□ 美術展を繞つて論議あり、それも將來に期待をかけての言葉、傾聽すべきもの

□ 池にはボートが浮んで、われらの都も美しき五月の裝ひをおこたらぬ

歌はぬ樂譜 (百三十五)

山中峯太郎
水門謙二 畫

（上映上演）

心の瀨 (三)

女の含み聲だつた、なれなれしく名を呼ばれて、俊子は後を振り返つた。

艶麗な井上英子夫人が、柱の横から、いそ〱と俊子の前へ、歩み寄つて來ると。

『お一人ですの?』

妙に皮肉な微笑を、頰いつぱいに浮べて

『どなたか、お待ちでして?』

『……』

さういふ眼色が、まざ〱と

——勝岡さんを、待つてらッしやるのね。

と、あざ笑ふやうに、俊子を見すゑるのだつた。

俊子は、眉をひそめた。

『……——』

だまつて、會釋だけすると

『いらしてませんのね』

と、英子夫人は、一矢を放つやうに言つた。

今さきに、俊子が、シートを立つて外へ出て行つた。そして、その横に空席があるのを、英子夫人は、後の方から見ると

——勝岡を迎へに行くのだわ。

思つた途端に、自分も外へ出て來たものだつた。

——あの生意氣な女、俊子に、打撃を食はしてやらう! いゝ機會だわ!

いきなり、俊子を、後から呼んで、又も言つたことは

『いかゞ? その後は御機嫌よくいらして?』

勝岡のことを、わざと聞いてゐるのだつた。

俊子は、顔をそむけたいやうに思つた。それでも

『ありがたう存じます』

とだけ言ふと、なほ反動的に

『奥さまも、お變りいらツしやいませんでして』

と、唇の先だけで言つた。

『えゝ、もうね、ちつとも變りませんのよ、俊子さん!』

と、英子夫人は、急に高飛車になつて

『けれど、最近、少し變つたことが出來たやうですの、ホヽヽ』

あたり憚らずに、ソプラノの笑ひ聲を、夫人は俊子の全身へあびせて

『ホヽヽ、だから、あの方もすこし位は變つたでせう?』

——何を言ふのだらう?

と、俊子は、この傲慢な相手の表情を、ジッと見つめたりすると、夫人の眼色に、一種のエローチックな光りが流れて、勝ち誇るかのやうに

『宜しく仰有つて頂戴ね』

またも馴れ〱しく、さういふと、クルリと體を廻してそのまゝドアの方へ、さも面白さうに歩いて行くのだつた。

俊子は、呼び止めやうとした。

——何といふ失禮な!

夫人の失禮さを、咎めずにはゐられない、こんな風に應對されてだまつてゐられる自分ではなかつた。が、この瞬間、ハッと俊子は立ちすくんだ。

——今の夫人の態度と言葉そして、宏の二日前からの容子は?

沸きあがる疑惑と共にある種の直感が、ムラ〱と俊子を襲つた。

それは『失禮な!』と言ふよりも、俊子にとつて、ほとんど致命的な侮辱であり、壓倒されるやうな打撃だつた。

——いゝえ、まさか!

顔を振るやうにして、打消さうと思ひながら

——きつと、さうだわ!

と、斷定される、これはもう、疑ふまでもない、思へない氣がするのだつた。

俊子は、受附の前に、しばらく立ちすくんでゐた。宏の來ないわけが、初めて分つた氣がするのだつた。

——あゝ宏と、夫人とが……。

新京の公園沿革史 (一)

その濫觴は廿七年前 今廢園の東公園

長春產土神の神苑たり

窓のない家と云ふものゝ無いのと同樣公園のない街といふものはないであらう、長春の街が明治三十八年九月五日、日露媾和條約の結果日本人の設計になる純粹の日本人町として建設された時、草分けの人々は公園を附屬地の東北部（長春附屬地東第三區老楊樹）に選定した、工費二、〇四四圓面積四、四〇〇坪、花壇が築かれ道路が縱横に通じ老樹影さすところ行人靜かに歩みを留めて涼みを納れ、明月を仰ぎ玉杯を傾けては遠く故鄕の人を懷ふ風情も北關情緒の一として數へらるゝに至つたこれが丁度滿鐵創業三十周年を偲ぶ今年より遡る二十七年前即ち明治四十三年四月であつた、これが長春に於ける公園の濫觴で位置に因なんで東公園と命名された

▽……△

越えて大正元年九月には長春の草分け神として京都伏見の稻荷神社御分靈を移し祭り、神殿の結構こそ小規模にして簡素なれ東公園は實に長春產土神の境內神苑たる意義をも帶びで來たのであつた、市民の親しみと景仰とは一に東公園の上に注がれた、年々の稻荷祭りも市民の新鄕土愛と花街妓連の傳統的信仰とが結び合つて、なかなかに殷振絢爛を極めた有様は今尚は古老の語り傳ふるところである、然るに榮枯盛衰は世の常ながら我が東公園にも凋落の秋が來た、風の多が來た、そしてさしもに市民歡喜の里であつた樂園も一朝にして見る影もない廢園となり終つたのである その原因として三つを擧げる事が出來よう、その一は大正四年新興都市の大公園としての西公園の出現であり、その二は大正五年長春神社の造營であり、その三は大正八年の御大典記念館建設である、特に第三の御大典記念館建設の一事は公園地域の過半面積を、（二、四二二坪）奪はるゝ結果となつたで公園としての風致は全く殺がれ玆に滿鐵としても公園地施設の一切を中止したので今は只吉野町三丁目と東三條通西北角一帶の石垣鐵柵內に猫額大の荒地が昔を語り顔に哀れ名殘りを留め居るに過ぎない

▽……△

西公園の沿革に就ては後に詳記するとして、次に日本橋公園の出現を說かねばならぬ既に東公園を失つた長春市街東部一帶の市民は猛夏憩ふべき樹蔭もなく朝夕散策の靜境もなく、綠地に飢え涼風に渴し遂に發見したのが附屬地東端の高台であつた、こゝは自然の風致公園に適し且つこの地域內には創業館と呼ぶ滿鐵創業時代長春市街建設計畫の帷幄として且つ伊藤博文公、大山元帥、小村壽太郎侯、後藤新平伯等、日本の大陸政策遂行に滿鐵の組織方針確立に無くてはならぬ人物であつた人々が親しく足跡をとゞめた歷史的記念建物もあり、旁々この地を公園化することの必要が唱へられ大正十三年着手、花卉を移植し道形をつくり大正十四年七月には正門の建設を了し、爾來年々植樹手入に努め公園としての面目頓に一新し今日に及んでゐる

▽……△

その公園正門をなすグロテスクな鳥獸像の偉容は車馬駱驛たる日本橋通りに面し行人の目を欲たしめ滿洲事變、建國奠都、長春より新京への目まぐるしい時代の潮に乘つて以來、この日本橋公園の怪像は特に觀光見學等の外來客にとつて永く印象にとゞめて忘れ難い國都風景の一となつてゐる、しかしながらこの日本橋公園の利用者はその位置の東に偏せる爲か當初の豫想に反し附屬地在住邦人の利用者に比し商埠地居住滿人の利用者の多いと云ふ珍現象を示してゐる、夏期の間滿人向の納涼園が繁昌を極めてゐるのも面白い傾向である、近時人口の增加に伴ひ市民の利用度も漸次增大されつゝある事實に鑑み日本橋公園の改造案も近く具體化の運びに到るであらふことは附近市民の强い期待でもあり熱望である、特に前記創業館の如き歷史的建物が有り今日まで或は滿鐵クラブとして、或は細菌檢查所として利用されて來たが古い史蹟に乏しい新京として、わが創業館の如きは、もつと由緒深い史蹟に相應しい特別保管の方法を採られんことを識者は頻りと論議し翹望してゐる【寫眞は東公園正門入口】

ボート開き

海に惠まれない國都市民の唯一のオアシスとして待望久しき西公園潭月池のボート開きは六日午前十一時から附屬地各機關代表者を招き滿鐵新京事務局關係者列席盛大に擧行された、式は新京神社楠村神官の司祭にて修祓、獻饌、祝詞奏上等形の如く執り行はれ滿鐵關係者參列者順次玉串を奉奠式を閉じ一同ボートの試乘をして終了した、なほ午後一時からは一般に無料開放し十五艘のボートは休む暇もなく終日賑つた（寫眞はボート開き）

乳幼兒愛護週間 今年は六月一日

審查會、表彰式も例年通り

毎年盛大に催されてゐる新京の乳幼兒愛護週間は本年は六月一日から擧行することゝなつたが週間中は乳幼兒審查會優良兒表彰式、優良兒寫眞展覽會、子供大會、母の會、乳幼兒健康相談、幼兒野遊會等を催す豫定のもとに着々準備が進められてゐる

工商會法を 當局と懇談

近く公布をみる滿洲國工商會法につき全滿日本商工會議所所在地の滿洲國側商務會、商會の各代表は六日新京に參集午前九時からヤマトホテル會議室に於て實業部當局との間に隔意なき懇談を遂げ午餐をともにして散會した

高壓電流に觸れ 技士即死

寬城子無電で

原籍東京府北多摩郡武藏町字境四四一番地、寬城子無線送信所技士中村邦（二十七）は六日午前六時十分頃徹夜して所內の對米二百キロ電信送信機ＵＬ八立、の眞空管取替へ作業中過つて三千五百ボルトの高壓電流に觸れ即死した

修學旅行團 三校歸京

白菊小學校の旅大方面修學旅行團は六日午後四時卅分歸京の豫定であつたが團體の都合で一時間繰り上げ午後三時に變更し、元氣で歸京した、また三笠小學校、順天小學校旅行團は六日午後四時三十分歸京した

懸賞廣告放送リレー 一等は根本氏

聽取者五萬突破記念の催し

電々會社が聽取者五萬突破を記念して去る四月廿一日夜十時から開催した「懸賞廣告放送リレー商店探し春の滿洲」の懸賞放送は應募者總數一千二百名中正解者多數に上り三日電々會社で警察官立會の上嚴重抽籤の結果當選者を次の通り決定した

△一等（三十圓）大連市連鎖街梅小路梅ビル內 根本一郎
△二等（二十圓）新京蓬萊町一ノ十三 上野玲子
△三等（十圓）大連市千草町二澤ビル二階 萬谷愛子
△四等（景品）五十名

なほ正解商店名は次の通りである

△大連 交通會社又は遊覽バス、キリンビール、陽又は酒造會社、勝又洋服店、中山婦人服店、銀座美粧院、帝蓄又は美ち奴
△奉天 近江洋行、キリンビール、ポリドール又は妻戀道中、スター運動具店 泰天ビル滿蒙百貨店 赤尾呉服店
△新京 滿泰洋行又は白鷹、銀座キネマ、乾寫眞機店
△ハルビン ハルビンビール、ときは百貨店

合計十九軒

ショーウヰンドー競技會 日、滿別に審議

あす具體案を協議

社團法人滿洲電氣協會主催第七回新京ショーウヰンドウ裝飾競技大會は二十七日から三十一日まで五日間開催するが本年からは日本人商店と滿洲人商店の二部に分けて行ふ豫定であるが方法、審查、其他具體的のことは七日午前十一時から記念公會堂で關係者が打合せ協議會を開いた上で決定する筈である

馬强盜二人組 捕はる

双城堡署で

去る四月十五日午後十一時双城堡三崗甲山灣子屯農業賀萬祥方を襲ひ家人を脅迫して馬三頭（時價三百五十圓）を强奪逃走した三人組强盜については首都警察廳及び所轄双城堡署で犯人嚴探中のところ最近內二名が双城堡三崗甲某旅館に潜伏してゐることを探知した双城堡署では五日早曉寢込みを急襲大格鬪の末逮捕すると共にモーゼル拳銃一挺、短銃一挺、彈丸二十九發を押收した

犯人は住所長春縣燒鍋甲大平莊張文和（二十七）、同朱春暘（四十六）の兩名で張は大同三年、朱は民國二十年、何れも匪團を解散後農民を裝つては通行人の金品を强奪する外農家を襲擊して馬强盜を敢行してゐたものでその被害多數に上つており目下餘罪嚴重取調中である

濱野鐵道監察官來京

鐵道監察官濱野信一郎氏一行五名は滿洲における鐵道運輸視察のため五日午後十一時十五分着列車で京圖線經由で來京國都ホテルに投宿したが同氏は語る

別に用件といつてではないが只滿洲の鐵道運輸狀況を見に來たゞけです、北鮮三港は近々のうちに非常な發展を遂げてゐるやうだつた、將來益々鐵道省との關係も重大性を帶びて來るだらう新京は交通監督部へ敬意を表しに訪問するだけで後は市內見學、六日夜の終列車でハルビンに赴き京濱線をみてすぐ奉天へ廻る豫定である

東洋大會延期の場合 招待競技會開催

比島體協に回答

【東京國通】第一回東洋大會開催の有無ならびに開期延期如何を決すべき東洋體協總會開催に關し名譽主事鄕隆博士より比島宛に代表者の出席方を求めるところあつたが、五日比島より電報をもつて東洋體協總會開催の意義及議題に關して問合せがあつたので體協では同日午後協議の結果一、明年度第一回大會は萬難を排して開催したし一、比島の參加絕對不可能なる場合は開期延期に關して改めて協議す一、明年の第一回大會延期の場合これに代る招待競技會開催の希望あるもこれに對する意向如何の三點をあげ、折り返し比島體協宛打電、その善處をまつことゝなつた

野犬狩り 十日から特別 市一齊に

首都警察廳衞生科では狂犬病猖獗期に入り來る十日から三十一日までの狂犬病豫防注射と並行して特別市一圓に亘つて野犬狩りを實施するがこの期間中畜犬は自宅に繫留されたいと

池坊このはな會

滿鐵、中銀、電業、電々會社其他市內の夫人令孃達が、池坊根本如空師を招聘し、日本花道の研究道場として組織せる池坊このはな會は、昨年四月其第一回花展を中央記念公會堂に開き好評を博したるが本年は滿鐵新京地方課の後援と三中井百貨店の應援により八日、九日兩日三中井百貨ギヤラリーに於て開會、池坊當時の立華、生花、應用花（盛花、投入花、洋式花）等池坊花道の全貌を開展して公衆の縱覽に供する筈

ロータリー倶樂部

新京ロータリ倶樂部では二十三日公主嶺に家族園遊會を開催することゝなつた、新京發は午前八時半、公主嶺に於ては軍隊並びに農事試驗場を見學後、試驗場にて運動會を開催午後六時發列車で歸京の豫定である

敷島高女始業時

新京敷島高等女學校では現在午前九時始りのところ來る十日から午前八時半始めに變更する

錦ヶ丘高女 第二回開校記念日

新京錦ヶ丘高等女學校は來る十日第二回開校記念日に當る當日は記念式を擧行し引續き運動會を催す豫定である

松林畫伯放送

訪日宣詔記念美術展覽會に相談役として東洋畫の審查に當つた松林桂月畫伯は七日午後六時二十五分新京放送局から「訪日宣詔記念美術展覽會の印象」と題し放送をなすことになつた

訂正

五日附朝刊既報來る九日郭家店杏花觀賞團の運賃大人一圓廿五錢とあるは一圓五十錢の間違ひにつき訂正する

あす（六日）

▲訪日宣詔記念美術展、公會堂及大經路小學校
▲新京署市街淨化週間第四日
▲春期淸潔檢查、東二條通、朝日通、八島通各派出管內
▲同大經路署管內、狂犬病院注射實施、民豐路派出所
▲本社並放送局主催新人放送演藝詮衡第二日、午後六時半、放送局

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇三曲「江の島」（東京）越野榮松外▲八・二〇歌謠曲「心のふるさと」外八曲（東京）松原操▲八・四〇俚謠「百日木茶屋唄」外三曲（山形）佐藤岩太郎外・八・五五義太夫（東京）豐竹つばめ太夫外▲一〇・〇〇落語「音曲風呂」（大連）櫻川宇太助

良人の貞操後篇
けふからの豐劇新キネ

豐樂劇場、新京キネマ六日よりの番組は左の如くPCL、パラマウント一番線を配した三本立編成である

▽PCL入江提携「良人の貞操」秋ふたゝび　おさへ切れぬ情熱のかるがまゝに遂に越えてはならぬ一線を越えた加代と信也の行手はそして親友に裏切られた邦子のその後はどんな舞台の上に悲劇を奏でるであらうか前篇「春來れば」の後をうけて同じく山本嘉次郎監督木村千依男、山本嘉次郎脚色、三浦光雄のキヤメラ、高田、入江、千葉その他のキヤストを得て期待を猟る

▽パラマウント「セイルムの娘」クローデット・コルベールがフレッド・マクマレイと顏合せする映畫でフランク・ロイドのパラマウントにおける第一回監督作品である、ブラッドリー・キングの書卸しものによりシナリオはキング女史自らウオルター・フェリス他一人と協同して書いた、ストオリイはアメリカの殖民時、東部の一寒村セイルムに住む清教徒の娘と、反亂に加擔して今はお尋ね者となつて人目を忍んでゐる青年との、古い因習を見事打碎いて咲いた戀ハ讃歌、撮影はレオ・ドーヴアー、助演者はゲル・ソンダーガード、ルイズ・ドレツサー等

▽PCL「青春部隊」千葉早智子、竹久千惠子、堤眞佐子、神田千鶴子、山縣直代、梅園龍子、英百合子、伊達里子、椿澄枝、江戸川蘭子、佐伯秀男、大川平八郎、北澤彪、嵯峨善兵、三木利夫、市川朝太郎、御橋公等PCLのオールスターを動員するお得意の音樂映畫、永見隆二の原作脚色により松井稔が演出する、音樂は谷口又士、撮影は友成達雄擔任

異變黑手組
けふからの銀座キネマ

銀座キネマ六日よりの番組は左の如く新興一番線にフオックス作品を配した三本立編成である

▽新興京都「異變黑手組」市川右太衛門の新興入社第一

▽恩愛二筋道△　松竹大船、池田忠雄のシナリオにより齋藤寅次郎が監督に當るナンセンス作品、エンコラヤ●母親お力におみつといふ娘があつたが、おみつは女學校を出て富豪小倉家の小間使となり若様の善一と關係して了つたことから珍劇が發生する、岡村文子、小牧和子、上山草人、小倉繁、若宮金太郎、小島和子、笠智衆等の出演を得て例によつて奇想天外なギヤグが連續する、キヤメラは猪飼助太郎の擔任である、長春座七日封切

回主演作品として發表される大佛次郎原作小説の映畫化、伊藤大輔が脚色監督に當つて田沼城主の秕政暴壓の下に入り亂れて相爭ふ善惡の死鬪に神出鬼沒の覆面武士團黑手組の活躍が絡る大衆劍戟篇、右太衛門の相手役として毛利峰子が出演する他、淺香新八郎、月田一郎、尾上榮五郎、山田五十鈴、松本泰輔、芝田新等オールスターキャスト、キヤメラは興禮夫の擔任

▽新興大泉「東京おけさ」伊奈精一が監督に當る流行歌の映畫化、毛利峰子、高野由美、野邊かほる、春日芳子、植村謙二郎、田中春男主演の他に新橋から喜代丸三島一聲等が特別出演する

▽フオックス「懷しのケンタツキー」死んだウイル・ロヂャースの主演する映畫でジョージ・マーシャルの監督作品である、世界に名だゝるケンタッキーの初夏、爽快無比の大競馬を背景に繰り展げられる涙と笑ひの物語り、ロヂャースの風格が愉しめるであらう、ドロシー・ウイルソン、ビル・ロビンソン等が助演してゐる

新興五月以降の豪華封切陣

躍進目覺ましき無敵新興キネマが愈よこのシーズンに放つ本格的巨大作の砲列は遂に布かれその豪華なるレパートリーが發表された

▽『寺子屋』脚本八尋不二、監督木藤茂、大谷日出夫、尾上榮五郎、市川男女之助、淺香新八郎、嵐德三郎、鈴木澄子、森靜子の七大スターの顏合せ

▽『咲かん花嫁』原作齋藤豐吉、監督青山三郎、毛利峯子、古川登美、植村謙二郎、丹羽一郎

▽『本所七不思議』脚本八尋不二、監督壽々喜多呂九平主演鈴木澄子、高山廣子、市川男女之助、南部章三、甲斐世津子他京都撮影所オールスター

▽『熊の唄』原作八木隆一郎監督田中重雄、伏見信子、菅井一郎、古川登美、江川なほみ、伏見直江出演

▽『幻の白頭巾』脚本民門敏夫、監督押本七之輔、大谷日出夫、尾上榮五郎、嵐德三郎、高山廣子、園友和歌子競演

▽『愛怨峽』原作川口松太郎監督溝口健二、主演山路ふみ子、河津清三郎、清水將夫、田中春男

▽『吉田御殿』（新興京都超大作）脚本原健一郎、監督野淵昶（主演者）山田五十鈴、大友柳太郎、淺香新八郎、市川男女之助、森靜子、歌川絹枝、白石明子（特別出演）藤野秀夫（松竹大船）實川延三郎（關西歌舞伎）月形龍之介（フリー）藤間房子（松竹劇壇）水島光代、千曲里子（松竹京都）

甘栗太郎　電三・二八八七　新京銀座

サボテン

靑木アカデミーの靑木君は國都ダンス界の先驅者として貢獻淺からぬものがあるが、勞酬られて帝都キネマ裏に新装の研究所を備へた、情操教育とダンス不可分論を吐いて眞性社交ダンス發達の爲大いに頭張るつもりだと覺悟をヒレキ、仲々結構だと言へばそれがねと聲を落して曰く「百萬圓の金があつたら一つ大きいホールを備へてアドミションシステムにしますよ、いゝ娘を澤山連れて來て一日入場料金二圓也—踊り放題といふ具合にです、そしたら…」既設ダンスホールは全部潰れるかもしれぬと自分のことのやうに心配するのは一體なんとしたことか、アアソレナノニ、それなのに百萬圓、もつたら又考へが變らう、然し、日本のダンスが事業家の手で育てられた缺陷を指摘し、慨歎するところ、國都のダンス界は靑木君に俟つところがあらう▼もと白馬あとを改裝してデヴユーしたカフエー「いなり」は東二條通りのおでん屋「いなり亭」の百合子さんの經營になるものである、お稻荷さんとカフエーの關係は密なるものかどうか詳かにはしないのであるが、これもアナクロニズムの時代相を代表してゐるものゝ一つであらうか▼ところで百合子さんはお仰言るのである「以前とは隨分變つたでしよ、氣分はどう？」「惡くはないですよ、これで白いキツネでも出て來れば氣分は一層出るでありませう」と言つたら、「そんなもの出ないわョ」といきなり口の中に頬張らされたものが、何んとおでん「いなり」の方から屆けられた三角のコンニヤクであつた

雜音

暫く途切れた色ものが中旬から月にかけて賑やかに來演する▼目覺しいものを拾つてみると十日から猫八一行の色もの大集團をトップに十七日から伏見姉妹に松平晃を加へた實演綴、二十日から「レヴユー萬才の奴會」一行、廿四日からは森永チヨコレートの宣傳隊がコロムビアの赤坂小梅を連れて來る▼六月に入ると大ものゝ連續である、先づPCL映畫でお馴染みの横山エンタツ一行の大擧來演、中旬には浪曲壽々木米若の二年振りの訪れ、松本幸四郎の公演も内定してゐる▼他に異色あるものとして朝鮮の代表的劇團春香座が七日より三日間公演する等、色もののファンには收穫が多い

四月の滿洲國貿易 輸入超過額顯著

―購買力の増進に基因する―

滿洲國四月分の外國貿易は輸出五千六百七十八萬七千圓、輸入七千五百四十一萬七千圓、輸出入合計一億三千二百廿萬四千圓であつて、一千八百六十三萬圓の輸入超過を示してゐる

△輸出入貿易總額表(單位千圓)

輸出入別	四月分	前年同期	一月以降累計
輸出	五六、八七七	七二、八〇六	二四七、七四四
輸入	七五、四一七	六九、一六四	二五八、一三六
輸出入合計	一三二、二〇四	一四一、九七〇	五〇五、八八〇
輸入超過	一八、六三〇	―	一〇、三九二
輸出超過	―	三、六四二	―

しかして一月以降累計は輸出入合計五億圓を超え、入超累計は一千卅九萬圓となり、昨年度に比し貿易尻は惡化してゐるが、これは主として購買力増進による輸入増に基因してゐる

"滿洲の水利事業は面白いと思ふ"

大連で安川東拓總裁語る

【大連國通】新任挨拶ならびに滿支方面視察の途にある安川東拓總裁は沿線各地における用務を終へ五日午後八時十五分「はと」で着連、秋山大連支店長ならびに關係知人名士多數の出迎へをうけヤマトホテルに入つた、同氏今回の來滿は滿洲國産業五ヶ年計畫の展開と時を同じうして東拓業務の滿支方面への積極的進出が傳へられる折柄特に注目されるが、滿洲國への投資ならびに水利事業等への進出意向を含めて左の如く語つた

今回の來滿は新任挨拶のためであるが新京にはしばらく滯在して軍、滿洲國方面とも種々懇談の機會を得わが社今後の業務の見透しについて多くの參考資料を得た、滿洲國は目下五ヶ年計畫が實施され各方面に事業の活潑な展開を豫想される、わが社としてもこの種國家的事業に參加し及ばずながら努力したいと考へてゐるたゞ滿洲國は純然たる統制機構が完備し、例の重要產業統制法等によつて各種事業に對し確然たる統制が加へられることになつてゐるが、滿洲國としても資金關係等については特にこれを必要としてゐる際東拓の仕事はまだまだ多くの餘地を殘してゐるものと考へる、我社が新たに着手する仕事に對して明言するわけにはゆかないが、例へば飛行機上からこの廣い平野を俯瞰するときなんと多くの水があることだらう、水に關係ある事業は面白いと思ふ、北支においては大體既存の興中公司が中心となつて各種の事業に着手してゐるから强いて同社との間に摩擦を生ずるやうな態度は避けたいと思ふ、鐵道建設に東拓が興中公司に代つて手をつける等といふ話しは全くのデマだ、我社懸案の東拓法はさきの議會解散でおくれたが改訂要望の主旨は大いに理があるし實現は間違ひなからう、實現すれば社債發行限度も拂込株金の十倍から十五倍に擴張されるので目下のところ資金に不自由は感じないわけだ、增資も考へぬでもないが現下の經濟情勢を今少し明確に見透した上又わが社の信用狀態を更に高めてからの方が適當だと考へる云々

なほ同氏は八日まで滯在、州廳始め民政署、滿鐵、市役所等を訪問、旅大の官民を招いて新任披露をなした後同社經營の淸水河、登砂河兩鹽田視察を行ひ九日飛行機で天津へ赴く豫定

鐵材の暴落

滿洲に影響か

二、三日前からその兆を見せだした鐵材の暴落に對し大阪の一般事業者は少からざる關心を持ち就中尨大なる新規計畫を擁してゐる雪氣事業者には可成りセンセイションを與へてゐるが假令この情勢が中落付きの狀態としても從前に比較すれば可成り良いコンデイションであり契約を締結するには絶好の機會とされるので俄然斯業界には華やかた購買戰が展開され樣としてゐるこの鐵材價値低落に依る契約が一般にどの程度に結ばれるか頗る疑問とされるところであるが、此影響が滿洲にも延びるのではないかと一般から注目されてゐる

滿洲大豆の合併方針決定

―大豆製品に吸收合併―

滿洲大豆工業と滿洲大豆製品との增資合併は日本油脂と滿鐵との間に折衝が進められてゐたが大體次の如き方針に決定今月中には最後的確定の運びとなつた、即ち滿洲大豆工業は百五十萬圓で現狀通りとし滿洲大豆製品を五百萬圓に增資前者を吸收合併する、但し新會社名は滿洲大豆工業とすること從つて滿洲大豆製品の大株主たる日本油脂は新會社の過半の株式を所有し滿鐵三井、三菱の各社より支配的地位に立つて經營一切にあたると云ふ方法である、つまり滿洲大豆工業の滿鐵所有株の肩替りが種々なる事情から進行澁滯を續けてゐるのでこれはひとまづ將來の解決に俟つこととし滿洲大豆製品の增資によつて新會社支配權を本油脂に掌握しようといふものである、今月中に決定直ちに手續をとるとすれば兩社の合併成立は恐らく九月一日となる見込みである

滿洲曹達

九月から操業

滿洲國內に於けるアルカリ工業に先鞭し來る六月より操業開始の豫定であつた滿洲曹達會社は發注機の遲延により豫定より約三ヶ月遲れ操業開始は來る九月頃となる模樣である、同社が使用せんとする原料鹽中二萬キロトンは既に滿洲鹽業より買取ることに契約成立し殘りは大日本鹽業より供給を受け更に自家鹽田開發を申請しゐた甘井支工場に近接せる鹽田事業には今秋より着手するなど原料的には頗る惠まれてゐるので余滿への供給は勿論內地市場進出の好條件を備へた同社の操業は刻下早急なる操業開始が期待されてゐる、而して同工場の所期計畫たる曹達灰日產二百キロトンは差當り半額百キロトンに止め滿洲產業開發五ヶ年計畫による增產指令あり次第フル生產に着手するものとみられてゐる

四月下旬に於ける新京の商況(中)

―新京商工會議所調査―

木材 大口の先物取引は未だ寥々ながら、現物は戸引活況を呈し紅松柚角二間物、同四間物、紅松四分板、白松四分板、胡桃柚角各五錢方反發、先行强調裡に越月した旬中新京到着數量は五、四四三噸で前旬に比し、一、五五五噸を增加した

△月末相場左の如し(單位一呎)

品名	中旬末	四月末
紅松柚角二間物	一、二〇	一、三五
同 四間物	一、三五	一、四〇
紅 挽材	一、四〇	一、四〇
同 四分板	一、三五	一、六〇
同 六分板	一、四〇	一、五〇
白松柚角二間物	九五	九五
同 四間物	一、一〇	一、二〇
白 挽材	一、一〇	一、三〇
同 四分板	一、四〇	一、六〇
同 六分板	一、三〇	一、五〇
胡桃柚角	一、五五	一、六五
鹽地柚角	一、五〇	一、五〇

建築材料 需要期に入り商內活況を呈したが、相場は思惑筋の手持豐富と內地鋼材市場の軟調も手傳つて鐵板の四圓方低落を始め亞鉛引鐵板、針金は各々五錢乃至五十錢方低落、其の他は何れも保合の儘越月した

△旬末相場左の如し

品名	單位	中旬末	下旬末
丸鐵 五分	一〇〇斤	三三、〇〇	三三、〇〇
亞鉛引鐵板 二〇番	一枚	一、三〇	一、三五
同 二六番	同	一、三九	一、三〇
同 二八番	同	一、七九	一、五〇
亞鉛引浪鐵板 二八番	同	一、三二	一、二二
同 二二番	同	一、一一	一、六一
同 二六番	同	一、九六	一、九八
鐵板 一分厚	一〇〇斤	四四、〇〇	四〇、〇〇
釘 二寸	同	一九、〇〇	一九、〇〇
針金 八番線	一〇〇斤	一五、五〇	一五、〇〇
板硝子二尺三尺十七枚入	一箱	一〇、一五	一一、一五
洋灰 小野田	三〇〇斤	一、五〇	一、五〇
同 大同		一、五〇	一、五〇
同 ペイント A印	三、五斤	一一、〇〇	一一、〇〇

綿糸布 產地市況は米棉安に拘らず海外引合漸增して實勢惡からず、三品綿絲は納會買方の受品敢行の態度に出でた爲め二十六日には三一五圓の新高値に暴騰一時立會の中止を見るに至つたが先物は緊ぎの壓迫でヂリ安を呈した 當地は實需弗々、荷物き稍々好轉したが新規商內殆んど無く休日續きと相俟つて市況閑散裡に越月した

△旬末相場左の如し

品名	單位	中旬末	下旬末
綿糸 遼塔	一梱	三三六、〇〇	三三六、〇〇
平糸 桂月	同	三三五、〇〇	三三四、〇〇
粗布 遼塔	一反	八、九〇	八、八〇
細綾 人面	同	七、一五	七、三〇
細布 軍人	同	一〇、一五	一〇、一五
細布 遼塔	同	九、九〇	九、九〇
大尺布 青天童子	同	三、一八	三、一七

土建ニュース

●營繕需品局決定工事

▲金鑛精錬廠新築工事之內水管式汽罐設置工事 落札 三萬二千百四十三圓 坂井忠商店

棄權	三井物產
棄權	大倉商事
四三、一六〇、〇〇	日東製作

▲新京稅捐局倉庫增築及南關分所新築工事 落札 九千三百圓 山地工務所

九、七九八、〇〇	康德組
九、九九〇、〇〇	土木組
一〇、四四〇、〇〇	多田工務所
一一、〇〇〇、〇〇	柴田建築所
一三、〇〇〇、〇〇	森本組

●埠頭保線區豫告工事

▲馬疫研究所廳舍其他新築工事 開札 十日午前十時

●埠頭保線區特命

▲第二埠頭船客待合所外二ヶ所ペイント塗替工事 特命 二百三十七圓九十六錢 兒島塗裝

●大連工事々務所特命

▲中試商庄實驗室煖房其他增設工事 豫特 二百六十二圓二十三錢 田中勝商會

▲用度部屋根一部(一)修繕工事 豫特 三百三十六圓〇三錢 小路安太郎防水

●大連鐵道事務所

▲用度部屋根一部(二)修繕工事 單獨 一千五百六十一圓二十五錢 丸山洋行

●大連工事々務所豫告工事

▲大石橋驛構內下りB番線西側線增設工事 開札 五月六日午前十時

●第一軍管區

▲星ヶ浦遊園灌水設備工事近々入札附される筈

●第一軍管區

▲通化步兵第二團本部兵舍新築工事 落札 七萬六千五百圓 一郡組

七八、九〇〇、〇〇	復元公司
七九、五〇〇、〇〇	福昌公司
七九、八〇〇、〇〇	興和公司
七九、八〇〇、〇〇	復興公司
八三、〇〇〇、〇〇	吉川組
八五、七〇〇、〇〇	戸田組
八四、五〇〇、〇〇	鹿島組
九五、三一〇、〇〇	稻井高梨組
一四六、〇〇〇、〇〇	榊谷組

●造兵所

▲奉天造兵所硝安室並倉庫改築工事 落札 一萬一千六百四十五圓 前田組

一三、〇〇〇、〇〇	西松組
一三、二六〇、〇〇	戸田組
一三、四八〇、〇〇	稻井組
一三、九六〇、〇〇	阿川終組

商況欄

(五月六日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	二〇片一六分七
同先限	二〇片二分一
紐育銀塊	四五仙八分一
同金塊七磅	〇志九片二分一
同金塊	三五弗〇〇
孟買銀塊	五三留比一六分一
英米爲替	四弗九四仙五八
日米爲替	二八弗八〇仙
米支爲替	三〇弗〇〇〇
スチール株	一〇二弗四分三
アナゴンダ株	五二弗四分一
日英爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	一志二片一六分九
日印爲替	七七留比二分一

▲米棉

現物	一三仙六五
五月限	一三仙一二
七月限	一三仙一五
十月限	一二仙九二
十二月限	一二仙九〇
一月限	一二仙九三
三月限	一二仙九六

▲印棉

ブローチ	二二九留比
オームラ	二一八留比
ベンゴール	一八八留比

▲市俄古小麥

五月限	一弗二九仙四分一
七月限	一弗一九仙四分一
九月限	一弗一七仙二分一

▲カルカッタ麻袋

青筋	二五留比二分一
鐵筋	二二留比八分七

金銀市況

●上海標金 本寄 二二四、二〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向

第一回	賣	一〇三、七五〇
	買	一〇四、〇〇〇
第二回	賣	―
	買	―

▲倫敦向

第一回	賣	一志二片三二分七
	買	一六分九
第二回	賣	―
	買	―

▲紐育向

第一回	賣	二九弗八分七
	買	一六分三
第二回	賣	―
	買	―

▲大連爲替

▲紐育向

第一回	賣	二九弗八分七
	買	一六分三
第二回	賣	―
	買	―

▲上海向 九六弗一〇

▲阪神日米爲替 賣 ― 買 ―

▲阪神日英爲替 賣 ― 買 ―

各地株式市況

▲東京株式(短期)

	寄付	大引
新東	一五五、七〇	一五四、九〇
日產	八六、三〇	八五、七〇
鐘新	二〇六、九〇	二〇三、二〇
滿鐵新	六二、四〇	六二、三〇
大新	九九、一〇	九七、九〇

▲大阪株式(短期)

	寄付	大引
大新	九九、一〇	九七、九〇
新東	一五五、九〇	一五七、〇〇
鐘新	二〇七、〇〇	二〇三、九〇

▲大連株式(短期)

	寄付	大引
日清	八六、二〇	八五、二〇
日產	三五、六〇	三五、六〇
五品	一七、四〇	―
豆新	三一、二〇	―
東新	六二、二〇	―
滿鐵	一三五、八〇	―
同新	三〇、二〇	―
日產	八五、四〇	―
鐘新	二〇六、九〇	―
日新	四〇、六〇	―

▲奉天株式(短期)

	寄付	大引
滿取	一三四、五〇	一三四、六〇
東新	一五五、五〇	一五五、九〇
大新	九九、五〇	九八、〇〇
日產	八六、五〇	八五、五〇
五品	一七、四〇	―
豆新	三一、〇〇	―
鐘新	二〇七、二〇	二〇七、〇〇
滿毛	―	―
優先	―	―
滿鐵新	六二、〇〇	―
同甲	五〇、〇〇	―
電乙	三三、五〇	―
同拓	四〇、一〇	―
東斯	―	―
瓦業	六七、一〇	―
電	五七、五〇	―

各地商品市況

▲大阪棉糸

	寄付	大引
五月限	二七七、五〇	六、〇〇
六月限	二七二、八〇	一、〇〇
七月限	二六九、五〇	八、五〇
八月限	二六八、〇〇	六、一〇
九月限	二六五、九〇	四、〇〇
十月限	二六五、九〇	三、五〇
十一月限	二六一、五〇	〇、一〇

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	七八、三五	七八、六〇
先限	七九、八〇	七九、八五

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	八〇、一〇	八〇、〇〇
先限	八一、九〇	八一、五〇

新京取引所市況

(四月六日前場)現物(一石値段)

	寄	引	出來高
大豆	―	―	
高粱	―	―	
小豆	―	―	
玉蜀	―	―	
先物	―	―	

●大豆

	寄	引	出來高
五月限	七、一八	七、〇[illegible]	[illegible]
六月限	七、二〇	七、一七	四車

●高粱

	寄	引
五月限	―	―
六月限	―	―
七月限	三、九〇	―

各地特產市況

▲大連 大豆

	寄付	大引
袋入	八、〇七	八、〇一
五月限	七、九七	七、九三
六月限	八、〇六	七、九九
七月限	八、一一	八、〇三
八月限	八、一三	八、〇四
九月限	八、〇〇	七、八八
三等現物	七、八三	七、八一

●同 豆粕

	寄付	大引
現物	三四五	三四〇
五月限	三五三	三五〇
六月限	三五〇	三五〇
七月限	三五〇	三五〇
八月限	二〇〇	三五〇

●豆油

	寄付	大引
現物	三六〇	三六〇
五月限	三三〇	三三〇
六月限	三三〇	三三〇
七月限	二三〇	三三〇
八月限	―	―
九月限	―	―

金曜 甲午 大安 除 牛宿 舊三月廿七日

●一白の人 內居安全なれども出先に於て災禍を招かん 申と壬と癸が吉

●二黒の人 幸運益增大して雄圖功を奏する繁榮の吉日 乙と庚と辛が吉

●三碧の人 權謀術策も無益に歸し窮地に陷らん危險日 申と辛と壬が吉

●四綠の人 日頃の苦心も慘憺たる光景を呈するに至る 辛と壬と癸が吉

●五黄の人 誠實を盡して人に交り事に當り大吉となる 丙と丁と庚が吉

●六白の人 一家一門の榮昌すべき日着實溫健を尙とぶ 乙と丁と申が吉

●七赤の人 浮華輕薄を戒しめ家業に熱中せらるゝが吉 乙と丁と庚が吉

●八白の人 氣運盛大にて萬事の發達速かなり起業大吉 丁と庚と辛が吉

●九紫の人 多辯を愼しみ巧言を警しめ實直なれば安全 申と辛と癸が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二〇五 營業局專用（3）三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

特別議會を目標として 飽まで政策本位で邁進

政府進退は議員數と別問題

陸相、首相に强硬進言

【東京國通】六日行はれた林首相と杉山陸相との會談は時節柄各方面から非常に注目されてゐるが、會談の內容は杉山陸相から今後の對滿方策に關し希望を述べて首相の諒解を求めたものであるとされてゐるが、杉山陸相は今日の政局に關し

過般の總選擧が與黨と野黨との爭ひでなく要は政黨の時局認識の如何にあるのであるから總選擧の結果、政民兩黨が衆議院に多數を占めることになつてもこれは最初から明瞭なことである、從つてこれをもつて政府が進退を決するが如きことは解散を無意義ならしめることゝなる故政府は特別議會を目標に政策本位で進むべきである

としてゐるからこの點についても首相に强硬進言をしたものではないかとみられてゐる【寫眞は林首相上と杉山陸相下】

滿洲の情勢も報告

【東京國通】杉山陸相は六日午前官邸に林首相を訪問、要談一時間餘にして辭去したが、要談の內容は「滿洲の一般情勢について詳細說明した」とて左の如く語つた

總理の求めにより滿洲の治安狀況、產業開發その他滿洲の一般情勢につき說明するとゝもに今後の對滿政策に對する陸軍および對滿事務局としての希望をも述べたが、總理からは別に意見は述べられなかつた、また滿洲國の產業開發五ケ年計畫と關聯して日滿產業經濟調整の新國策といふやうな點にふれなかつた、要するに今日は滿洲の一般情勢の說明のみで政局問題までには全然ふれなかつた、しかし今度の解散は議員の數の問題ではないのだからあのやう數字を示したからとて政府として今から進退など考へるべきではなく、飽までも政策本位で議會に邁進すべきであり、今後の態度は一に現實に示される勢に應じて其時に適宜決すればよい總理の肚もこゝにあるものと信ずる、當面の政局に關係のない滿洲情勢を一時間餘も聽取する程總理は餘裕を以つてゐる

「ソ聯廣東總領事館 近く復活決定

ソ支通商關係の確立を期す

【上海六日發國通】ボゴモロフ大使着任以來ソ支關係の全面的改善に關する折衝が進行中であるが、民國十六年の廣東暴風雨以來閉鎖され今日に及んでゐるソ聯の廣東總領事館は國民政府當局の許可を得て愈々近き將來復活されることに決定した、ソ聯側では南支におけるソ支通商關係の確立、特にソ聯產石油の賣込みの爲對策考究中であると確聞する

遠藤侍從武官 聖旨令旨を傳達

【上海六日發國通】畏きあたりより御差遣の侍從武官海軍大佐遠藤喜一氏は第三艦隊將兵慰問ならびに警備狀況視察のため五日午後四時入港の連絡船で上海着、六日午前九時より第三艦隊旗艦出雲艦上において聖旨令旨の傳達を行ひ次いで第十、第十一戰隊、第五水雷戰隊ならびに陸戰隊を視察した

後任東京市長に 宇垣大將を推薦

【東京國通】後任市長の詮衡は五日の第一委員會を契機として各會派共一齊に積極的動きを開始したが、政友派の詮衡委員は六日政友支部長鳩山一郎氏と會見の結果、後任市長として宇垣一成大將を市政會の候補者となし、來る十日の第二回詮衡委員會に臨むことに意見の一致をみた、民政側委員が推すものと見られてゐただけに政友派の宇垣氏推薦は一般から注目をひいてゐる

滿鐵監事會

【東京國通】滿鐵では六日正午より麻布狸穴社宅に監事會を開催、大橋、小倉、原、森安宅各監事、滿鐵側より松岡總裁、宇佐美、阪谷兩理事、伊澤支社長等出席、松岡總裁より十一年度決算概要につき大體前年度と同様の成績を擧げた旨報告、更に今般の滿鐵人事大整理については能率増進、行き詰まり人事の打開刷新などの必要から已むを得ざる旨を說明、諒解を求めた次いで今年度事業計畫に對する資金問題については既定方針通り社債中心をもつて調達する方針の旨を述べ、各監事の支援を求めた、これに對し各理事より委任經營たる局線の營業狀況に關し質問あり、總裁より右は漸時好轉し前年度は豫定より一千五百萬圓赤字減を示したる旨を答へ二時半散會した

"總辭職論など 凡そ解せぬ事だ" 伍堂商相の西下談

【靜岡國通】七日名古屋で開催の全國購田組合大會に出席のため伍堂商相は六日午前八時五十分東京發西下したが、車中時局問題につき左の如く語つた

閣內に總辭職論が出たといふことは新聞をみただけでほかは知らぬ、今になつて總辭職論が出るなどゝは凡そ解せないことではないか選擧の結果政黨の分野がかうなるだらうといふことは解散のときから判つてゐたことだ、あのときは解散を是なりとして斷行したのだ

政府の今後一切の態度はあの瞬間に決つてゐる、これは不動なものだ、自分は首相にもそのことはよく確めておいたから、今とやかく迷ふ事はない、政黨を叩き直してみるだけで政治上の偉大な實驗をやつてゐるわけだ、この調子だと議會に臨めば必ず不信任案が出るだらうが政府は挂冠の心要がある筈はない、當然そんな場合に直面したら再解散あるのみで、この態度に變りやうのあらう筈はない、再解散しても或はやはり同じ者が同じやうに出て來るかも知れぬ、その時のことは云ひ度くない、然し自分達としては同じ結果が出て來ないやうにしなければならぬと思つてゐる、それが選擧法改正の問題か、乃至新黨の旗揚げか、その何れとも言へない新黨は希望してゐるけれども解散後一月以上も經ちながら、ちつとも動いてゐないではないか、然し

とに角この際は、個人的な政治的態度は絕對に避けねばならぬ五日の閣議では既定方針を再確認して閣內はしつかりと步調が揃つてゐる、物價對策委員會のお膳立は出來たが委員會では徹底的に民間の意見を徵してみたい、爲替管理の實際を見ても技術的なオペレーションに墮し過ぎて輸出と輸入の双方を睨み合せる貿易の國際的見地が缺けてゐることが事實だ、さういふことに對する民間の實際的註文をよく訊いて政府も反省しなければならぬ、爲替管理の强化が機械的に流れると輸出貿易に取返しのつかぬ仕末を仕出かすことにならう、その意味で貿易省でも作つて計畫的な原料政策の樹立に努力せねばならぬ

經濟軍縮案に 有望の見透し得

デヴイス米國代表一旦歸國

【ロンドン六日發國通】米國代表ノーマン・デヴイス氏は先月下旬國際砂糖會議を機會として、ロンドンに乘込んで以來英國をはじめヨーロッパの各國代表と經濟軍縮案について協議を重ねてゐたが、案外有望との見透をつけたものゝ如く、八日ロンドンを出發一旦ワシントンに歸國し、ル大統領に右の經過を報告することになつた、ル大統領はデヴイス代表の報告を聽取したる後、さらに六月中旬ベルギー首相ヴアン・ゼーランド氏をワシントンに迎へて意見を交換した後、經濟軍縮案に對する米國としての方針を決定する段取りである、デヴイス代表はこの經濟軍縮案今後の見透しについて五日夜

今回の國際砂糖會議は從來の國際會議の中でも恐らく最も成功したものといふことが言へやう、今回の會議によつて國際會議が充分効果の上るものであることが表明された次第だ、そこで經濟軍縮案の問題であるがこれにはまづもつて英米兩國間の新通商の實現、それから世界各國の通貨の連繫といふことが必要だらう、勿論國際的協力の最後の目標は再軍備を避けて戰爭の危險から免れるといふことにあるので、各國代表は互に平和確保のため會議する餘地をもつてゐる

と語つた

米海軍建設計畫

一時中止を勸告か

【ワシントン五日發國通】米國政府の財政狀態は豫想以上に惡いためル大統領も去る四月廿日特別豫算に關する教書中で緊縮政策を勸告したくらひであるが、下院海軍委員會でもこれ等を多少考慮して一億八千萬弗に上る海軍建設計畫も一時中止するやう勸告するのではないかとみられてゐる、これに關し下院議員で海軍委員であるチャールズ・ミラード氏は五日左の如く語つた

下院海軍委員會は財政緊縮上建設計畫を斷念するか或ひは一時中止されるかも知れない、委員會はすでに補助艦數隻の建造と航空母艦レキシントン號、サラトガ號改裝について延期するやう勸告することになつた尤もヴインソン委員長は未だ決定してゐるわけではないといつてゐる

航空工業の統制に 遞信當局乘出す

濫立防止、健全發達へ

【東京國通】晩近日本民間航空熱の昂揚と共に各種民間航空工業會社濫立の虞れがあるので、遞信省では航空工業の健全なる發達を期するためこれが統制に乘出すことになつた、即ちこの種會社濫立の結果は

一、熟練工の爭奪と濫用による技術の低下を來すこと
一、航空工業製品の品質低下を來すこと
一、會社設立を投機目的に利用するの結果一般國民に對し航空工業に對する不信の念を抱かしめること

等で航空工業の健全なる發達を阻害すること夥しきものがあるが、現行法制上航空工業會社の設立は自由設立となつてゐるので、監督官廳としては法規上これを制限するためには立法又はこれに代るべき勅令公布の方法によるの外ないので、遞信省は次期議會に航空工業統制法の提出を考慮中であるが、若しそれ以前に何等かの取締方法を必要とする狀態に立至れば取敢へず實際的方便として陸海軍及遞信省共同の名において航空機部分品の註文は特殊の指定會社にこれを限定する旨の聲明をなし、もつて濫立する航空工業會社をして一般民衆に對する出資の好餌たらしむる事を事實上防止する意圖をもつてゐる、而してこれと共に健全なる航空工業會社に對しては試作奬勵費、定量註文等の方法によりその保護助長に遺憾なきを期し、もつて低廉良質なる航空機の供給を豐富にし、民間航空發展の基礎を强化する方針である

駐鮮各領事官設置 急速に實現せん

筒井外交部通商司長京城着

【京城國通】鮮滿通商貿易の積極的振興助成に乘出した滿洲國政府當局より派遣された外交部筒井通商司長は、六日午後二時二三分京城に到着した、同司長は總督府と鮮內主要都市における滿洲國領事館の新設に關して打合せをとげる筈で釜山、元山、淸津等の滿洲國領事館設置は急速にとり運ばれるものとみられる

カタロニア內訌解消 臨時政權組織

【バルセロナ五日發國通】カタロニア無政府主義分子は自治政廳の武裝解除令に激昂、四日朝來暴動を起したが、無政府主義分子がカタロニア政府の要請を容れ四日午後九時暴動を停止した結果兩者の間に和解工作進展、五日早朝に至り遂に交渉成立した、大統領カムパニース氏ならびに無政府主義者代表たる法相ガルシヤオリウア氏は五日午前交々ラヂオを通じ全民衆に對し內訌解消を聲明し、和解成立とゝもに臨時政權が組織された、主なる顏觸れ左の如し

穩健黨（カタロニア左翼）アルチン・ピーエド
勞働總同盟（社會主義派）アントユオ・レセ
國民勞働聯盟（無政府主義派）ヴレリオ・マス
農民黨 ホアキン・プウ

滿鐵辭令

【大連國通】六日附滿鐵辭令左の如し

北平事務所職員 横尾宗寬
庶務係主任を命ず
北平事務所職員 横本一人
資料係主任を命ず
上海事務所囑託 中西正雄
同 横田正雄
囑託を解く
職員を命ず
上海事務所庶務課勤務を命ず 横田正雄
職員を命ず
上海事務所調査課勤務を命ず 中西正雄

吉林高工校長に 鈴木正雄氏任命

文教部主管となつた吉林高等工業學校は六日官制公布されたが新任校長は鐵道總局建築課長鈴木正雄氏が任命された

北村西望氏來滿

滿洲三先人記念事業委員會の委囑をうけて新京西公園に建立する兒玉大將の銅像製作に當るわが彫刻界の重鎭北村西望氏は建設地實地檢分のため五日夕刻日滿旅客機で來連、ヤマトホテルに入つたが、氏は大廣場の大島大將、星ケ浦の後藤伯の銅像を檢分し、七日新京に赴く豫定である

八島校修學旅行團 けふ出發

八島小學校の尋常六年修學旅行團一行百二十八名は七日午

正田日清製粉 社長鮮滿視察

【東京國通】日清製粉社長正田貞一郎氏は京城工場竣工式出席旁々鮮滿視察のため六日午前九時東京發京城に向つた同氏は約一ケ月の豫定で京城、新京、哈爾濱、奉天、大連各地を經て北支方面をも視察する筈である

後四時四十分發列車で坂本、稻村、渡邊、奧武四訓導に伴はれて旅大方面へ出發、來る十一日午後四時三十分歸京の豫定である

航空彼來

▲星名勝自老氏（實業部）六日牡丹江から
▲丸橋薰氏（同）同

新京某中等學校の不詳事件は一時終熄したかに見られてゐたが最近再び擡頭の形勢に在る同校のため寔に遺憾なることゝして識者の眉をひそめしめてゐる▼巷間傳ふるところによれば同校某々教諭は體操の時間に生徒を打擲又は足蹴にし▲目擊した通行人の面をそむけしめしこと一再ならず又某教諭は教室內に於て生徒の態度が氣にくわぬとて一時間の授業時間中▼授業をうけたるもの僅かに三名にして他は全部起立せしめられたといふことである▼教育者の使命は自ら師表となり生徒をつくるに在り生徒をして學校と離間せしめるに非らず▼生徒をして學校と離間せしむる如き教諭あるが爲めに生徒は白晝街頭に飛び出し制服制帽のまゝビールをあふるが如き生徒としてあるまじき行爲をなすのである▼その責任は學內不統一によることは言を俟つまでもなきことながら滿鐵は高給を支給して不適任の教職者を養ふよりも人を擇つたり顧つたりすることを好む者は何も教職者として優遇せずともそれに適した仕事に向はしめた方が本人も喜ぶ事であらう

社說 ソ支關係の趨向 親近の度を加ふ

一

最近に於ける支那とソ聯との關係は一大轉換を示したと見られる。それには先般の三中全會後に支那の國民黨と共産黨との對立が解消したことが大いに關係を有してゐる。これを轉機として數年前より緊密化してゐたソ聯關係は更に一段と促進されたのであるソ聯の外交政策は往年の赤化政策が緩和され、國際政局に外交的優勢を獲得することに當面の目標が置かれるに至つた。支那に對しても南京政權との親近を重視して來た、支那に於いては南京政權が支那統一を大いに進捗せしめ、一切の管理力を强大にした。支那の赤化勢力の弱化とともに支那の對ソ感情も緩和されたのであつた。

二

ソ聯は歐洲に於いては獨逸と鋭く對立してゐる。而して獨逸に對しては、對獨共通被害感或ひは共通の反獨感情を有するものを結ぶ政策をとり佛ソ相互援助條約、ルーマニア、チエツコスロヴアキア佛蘭西と結ぶ反獨親ソ集團安全保障體制の樹立、親英關係の樹立等によつて獨逸包圍陣を構成してゐる。同じやうな政策をソ聯は東方に於いても具證化しやうとしてゐるのである。一九二八年には北京政府と國交斷絶し、一九二九年には南京政府とも斷絶してゐたものを、滿洲事變後屢々國交恢復を南京政府に向つて提議するに至つた。一九三三年にはソ支國交の恢復が行はれ南京政府と表面より提携する政策が取られるやうになつた、支那の現勢に於いて南京政權は壓倒的勢力であり、これ以外に親近すべき對象は存しない。ソ支親善のための諸工作は精力的に展開されることとなつた。ボゴモーロフ駐支大使やその他の駐支ソ聯官憲の活躍、中ソ文化協會の仕事等はソ聯の對支工作を具體的に進捗させた。

三

南京政府は一方には英米等の援助政策に助けられてゐるソ聯が英米諸列强と支那との親善を妨害するものでない事は注目すべきである。英米は現在往年のやうにソ聯と對立してゐない。極東に於ける英國の政策の如き、或る點に於いてソ聯の態度に好意的であり得るのである。ソ支兩國とも内外の事情から當分戰爭を回避し、出來るだけ兩者の接近提携により國際政治上の優勢を保持しやうとしてゐる。ソ聯は國内諸建設に專念してゐる。支那も事を構へず、政治、軍事、經濟の建設を進めて自國を强國にしその地位をあげやうとしてゐる。そして外交的壓力をつくるためにはソ聯とも握手したのである。今後に於いてもソ支關係は一層緊密の度を加へるであらう

獨伊軍事同盟成立か 近く技術的細目協定說
―佛政府當局焦慮―

【パリ五日發國通】獨伊兩國代表ヴネチヤ會談の結果、獨伊兩國政府間には事實上軍事同盟が成立し、イタリ政府は事實上における獨墺兩國の合併案に同意したのではないかと傳へられる、U・Pパリ支局はパリ外交界の消息として以上の條項を次の如く述べてゐる

一、獨伊兩政府は原則上軍事協定を締結した
一、イタリー政府はドイツ政府に對しオーストリアにおける自由行動を承認する
一、但しドイツ政府はブレンネル峠におけるイタリー國境を保障する

更にドイツ國防相ブロンベルグ氏がローマに乘込む幕僚を派遣して軍事協定案の技術的細目を協議するだらうと傳へられるが、フランス政府當局は今回の取極めでイタリー政府が獨墺兩國の合併に同意したと見做し對策に腐心してゐるといはれる

獨伊の合縱陣完成 第三次會見後コムミユニケ發表

【ローマ五日發國通】ドイツ外相ノイラート男は五日正午ヴエネチヤ宮にムソリーニ首相を訪問、チアノ外相列席のもとに獨伊兩國の政治的、經濟的提携策につき懇談をとげた前後三日にわたる會談でローマ、ベルリン樞軸に基く獨伊の合縱陣ほゞ完成、兩國は歐洲の安定勢力として他の諸國にも外交工作を擴充するに決定したと解される、會談後次のコムミユニケが發表された

ノイラート外相はムソリーニ首相ならびにチアノ外相と三次にわたり會談を重ね獨伊間の政治的、經濟的諸懸案を檢討した結果兩國利害は完全に合致する事實を確認した一九三六年十月獨伊兩國間に締結さなた議定書は現に歐洲の平和に寄與するところ尠なからず、獨伊は右議定書に滿足しその精神に基ぎ統一的に政策を遂行すべく、今次の會談を機會に獨伊兩國政府は他の各國と緊密に協力し平和の保障に最善を盡す決意をこゝに聲明する

外務省人事異動

【東京國通】佐藤外相が對支外交陣容擴充のため、駐支大使の許に三參事官を置き夫々事務を分擔して圓滑なる政策の遂行を企圖し、日高南京駐在參事官は既に赴任、岡本上海總領事兼參事官は五日赴任の途につき北平駐在參事官は十月新任の豫定であつたが北支問題の重要性に鑑み急遽陣容を整備するに決し、十日左の如く人事異動を行ふことになつた、森島守人氏は十二三日頃赴任の豫定

外務省東亞局長 森島守人
任大使館參事官 中華民國在勤被付 特命全權公使(シヤム) 石射猪太郎
任外務省東亞局長 大使館一等書記官 加藤傳次郎
任總領事 漢口在勤を命ず 漢口總領事 三浦義秋
賜暇歸朝を命す

日本郵船で增俸

【東京國通】日本郵船では物價騰貴の趨勢に鑑み七日本社に開催の定例重役會で、社員準社員合計一萬三千百卅九名に一割程度の一齊增俸を行ふことになつた

參謀長會議に於る杉山陸相訓示

【東京國通】四日から開かれてゐる本年度陸軍參謀長會議は六日午前八時三十分陸軍省で續開されたが、席上杉山陸相は左の如き訓示を行つた

帝國内外の情勢は皇軍の使命をしていよいよ重大ならしめるものあるに鑑み過般師團長等會同の機會において軍紀嚴肅ならびに練成等に關し要望なる事項に關して要望し併せて軍備の恒久的充實及びこれが母體たるべき國家綜合力の飛躍的向上に關し特に所信を披瀝するところありたり、爾來情勢の推移を見るにこれが具現要望ますます切なるものあるを痛感す

そもそも軍紀の肅正團結の强化及び練成の徹底その成果その一にかゝりて、將官統率の適否に存し、しかもこれを輔佐大成するは正に幕僚に長たるものゝ全責務なり、本官は諸官が克く長官の意を體し時局の着想に立脚し、自主獨創の經論をかゝげ、適確果敢に實行し、以てその重責を果し、特に軍備の精神的要素を益々强化擴充し、皇軍の眞價をいよいよ發揮せんことを切に期待す細部に關してはそれぞれ當事者をして指示せしむ、諸官また當局と忌憚なき意見を交換し、意見の疏通をはからんことを望む【寫眞は杉山陸相】

海軍特命檢閲使大角大將等參內

【東京國通】海軍特命檢閲使大角岑生大將の一行は使命を果し先程歸京したが、六日午前十時半參內、天皇陛下に拜謁仰付られ、檢閲狀況に關しつぶさに奏上申上げた、陛下には一々御熱心に御聽取あらせられたが、正午豐明殿に出御、檢閲使一行を召され久邇宮殿下も御陪席、米內海相、高橋、藤田各軍事參議官以下海軍首腦部、松平宮相以下側近者にも陪席仰付られ御慰勞の御思召により午餐を賜つた【寫眞は大角大將】

東京市聯合防護團員近く來滿

【東京國通】東京市聯合防護團では友邦滿洲國の國防上における日本との關係を檢討、同國主要都市の防護施設を視察し、併せて在滿各部隊訪問の目的で滿洲國の視察團を派遣することゝなり、七日午後八時卅分東京驛發列車で出發する筈である、一行は藤野社會教育課長を團長として團員はいづれもカーキ色の團服、ヘルメット帽、卷脚絆の輕裝で廿日間に亘つて全滿を視察研究する筈である

同業組合聯合會前途危懼さる 共濟會問題て足並揃はず

國都の中、小商店振興機關として多大の期待を持たれつゝさる三月創立をみた新京同業組合聯合會は創立當初から一部組合の幹部に對する反感乃至は少數會員しか有しない弱小組合の氣乘り薄等からとかく足並み揃はず、加ふるに活動資金難にてその圓滿な活動が危惧されてゐたところ、最近に至つては建材商組合の公式脫退、或は印刷業組合の脫退、意志表示等ありいよいよその前途が危ぶまれ、此まゝでは商店協會同樣に有名無實の存在となるか、消滅崩壞の外はないとみられるに至つたかゝる場合に立至つた原因は同聯合會が最初の事業として最も力を入れた店員共濟會の設立に端を發してゐる、即ち共濟會の趣旨は店主、店員共同負擔のもとに定期積金を行ひ、店員の身分保護、不時の疾患に對する救濟等を行ひなほ剩餘金によつては營業資金の貸付等も行ふと言ふ理想案であるが、店主側にとつては店員數に比例する負擔額は相當高額に達するところもあり有力な反對は先づこゝから上りつゝあつたが、同聯合會の有力構成メンバーである先日の和洋雜貨商組合總會に於ける態度決定は事實上共濟會設立如何の分岐點とみられてゐたが、遂に最後的決定に至らなかつたのはその大局を暗示するものといはれてゐる、その外聯合會々費に關しても總組合員約四百名、一人月額金三十錢、總額にても僅か百二三十圓前後にしか達しないので、他に基本財産を有せざる限り殆ど事業經營は不可能である、かくして商店協會結成當時は消費組合問題と言ふ全員一致たらしめるべき目標があつたにもかゝはらず現在では、デパートとの對抗と言ひ、新市街への牽制策といふもいさゝかピント外れの感もあり、一般商店街が不安を感じつゝも現狀維持に專念しつゝあるのが、聯合會創立も結局お祭騷ぎに終らす最大の原因ではないかとみられてゐる

西山技師に懲役二年三ケ月言渡さる

【東京國通】休職陸軍造兵廠勅任技師從三位勳一等西山文雄氏(五三)に關する瀆職事件の判決は六日午前九時三十八分から青山第一師團司令部の陸軍高等軍法會議法廷に開廷、裁判長中山蕃中將より左の如く判決言渡しがあつた

懲役二年三ケ月(未決控除二百日通算)追徵金八千五十圓 休職陸軍技師 西山文雄

陸軍工員の美擧 給料を獻納

【東京國通】世を擧げて增俸要求時代に陸軍では眞先かけて去る四月一日の年度がはりから全陸軍工員に對し一齊に八分丼給と春秋二回の靖國神社大祭當日を有料休日とすることに決定、既に實施し更に六月一日から勞働時間その他に亘つて全面的の待遇改善を行ふことゝなつたが、この結果軍國日本に相應しい美談が生れ陸軍當局を感激せしめてゐる、この待遇改善に浴する東京、名古屋、大阪、小倉等の各造兵廠の全工員は去る四月卅日の靖國神社大祭休日にはじめて給付された給料の全額を投げ出して國防獻金とすることを自發的に申合せ、これに同廠の高等官、判任官、雇員等もそれぞれ應分の寄附を申し出で、總額四萬五千圓に達したので端午の節句の佳日をトし五日午後陸軍省に對して獻納の手續きを取つた、陸軍では直にこれをもつて新兵器製造を行ふ豫定である

第四軍管區各部隊討伐成績

第四軍管區內各部隊は松花江下流を中心に蟠居する匪團の潰滅に日夜奮鬪、春耕期を控へて各地に戰鬪を續けてゐるが、四月中の討效果は左の如し

	國軍	治安隊
戰鬪回數	三一	九
討伐日數累計	五、一九〇	八九〇
匪賊死傷	二〇一	四六
わが方の損害		
戰死	八	一名
負傷	一〇	五名

日滿中央協會で國防座談會開催

【東京國通】日滿中央協會では來る十一日午後四時卅分より神田教育會館において社會經濟方面の評論家約十名を招待し參謀本部課長河邊虎四郎大佐を中心に國防方針に關する座談會を開催することゝなつた、當日出席する評論家の主なるもの左の通り

長谷川如是閑 高橋龜吉 石橋湛山 木村增太郎 伊藤正德 室伏高信

實施さる新儲金制度 スマートな新通帳もデビユウ

待望されて居た滿洲國の新儲金制度は五月一日より實施されたが、新制度では滿洲色濃厚で而も迚も優雅な新通帳(表紙は近代的網目斜線のあるスマートな圖案中に郵政のマークや富貴を表徵する牡丹をあしらつた等中々凝つた意匠であるが)使用さるので郵局では初日から此の新通帳を手にせんとする新規預入者殺到した。又從來發行の舊通帳は郵局を通して交通部郵務司に引上げて同司に於て新通帳を發行して舊通帳と共に直接預ケ人に書留にて送るのであるが此の新舊通帳の引換が迚も大變な仕事なのである何にしろ十萬に餘る舊通帳を全滿から交通部に引上げて夫々新通帳發行、夫れに昨年末迄の利子を元加した儲金の現在高を轉記するのである、又通帳面の預ケ人の住所氏名等は筆書を廢しタイプライターを用い金額には證劵等に使用するチエツクライターを使用する等先進國の夫に劣らぬ體裁とするのである。此の臨時の仕事に從事する係員は新規採用の二十名の男女事務員と常在員を合して約四十名であるが一日の處理能率を平均二千册として居て此の五、六の二ケ月で引換を完了するとの偉い意氣込方である。

舊通帳の所持者は可成受持郵局の指定する引上の日に通帳を郵局窓口に持參されたいとの事である郵局では此の引上に局員を預ケ人の自宅に派遣するのもサービスであるが此の方法を執ると或は部外から詐欺漢が飛出さないかを杞憂して態と局員を派遣しない事にして居るとの趣である。又新舊通帳引替に要する日數は交通部に舊通帳が著してから二日乃至四日の中に必ず新通帳を發行送付する事に成つて居るので郵便での往復日數に此の二日乃至四日を加へたのが所要日數である由例へば黑河郵局に之れを請求すると黑河新京間三日交通部での處理日數二日乃至四日新京黑河間三日であるから其の所要日數は八日乃至十日を要するのである(交通部より下記の新儲金制度解說を寄稿して來た)

新儲金制度(1) 第一 儲金制度の沿革

郵政儲金の制度は今より七十六年前即ち一八六一年英國に於て創始せられたるを嚆矢とし其の後白耳義、日本等と相次いで實施し今日に於ては世界何れの國に於ても其の制度を見ざる所なき盛況を呈するに至つた。中華民國に於ても一九二四年先進諸國の制度に倣ひ實施せられたのであるが、滿洲事變當時に於ける全支那の儲金總額は僅に一千五百萬圓にして其の內滿洲に於ける儲金は僅々六十萬圓に過ぎず然も其の大部分は郵政從業員の强制儲金と稱せられ誠に微々として振はなかつたのである。之れ主として政府の基礎未だ定まらず國民の之れに對する信賴の念も亦甚だ薄きに基因せるものと思はれる大同元年三月建國成り同年七月未だ中華郵政の隷下にありし全滿郵局の接收開始せらるゝや南京政府は全郵局員の擧內引揚を指令し且無謀にも帳簿、證據書類等悉く持去つた爲從來の儲金關係も一切不明に歸し接收後繼續開始しやうにも如何ともすることが出來なかつたのである。茲に於て我郵政は其の機構を再建すると共に一方局員の充實、訓練を圖り不取敢中華郵政時代の郵政儲金條令を援用し其の制度を大體其の儘踏襲し利用規則以下の關係法規を新に公布し大同二年五月一日より新に儲金の取扱を開始したのである。當時取扱局は僅に六十二局に限定されて居つたのであるが、國民の新設府に對する信頼と、他に安全確實なる貯蓄機關があまり存しなかつたとに因り取扱開始後一年半を出でずして早くも中華郵政接收當時の預金總額六十萬圓を凌駕するに至り更に其の飛躍的增加を示して現在に於ては預ケ人員十三萬人、預金總額千萬圓を突破するの隆昌を見るに至つた。之れ建國の基礎愈鞏固にして治安確立人心安定と共に國民の經濟生活にも相當の餘裕を示したる證左であつて國力の向上を如實に物語るものと言へよう。斯の如く我國の儲金は開始以來顯著な消長を示しつゝあるが、其の制度は右にも述べた如く建國匆忙の裡に暫行的措置として制定せられたもので其の後順に進運し來つた國勢に適應しないのみならず利用上の不利不便も尠くなく、且近く實施せらるべき滿鐵附屬地通信行政權移讓後の措置としても此の儘推移を許さない事情に立ち至つたので交通部に於ては豫ねてより制度の改善法規の整備を企圖して居つたが遂に從來の制度は之を全廢し代ふるに範を日本國貯金制度に採り之に本邦特殊事情を加味したる新制度を樹立することに決し本年三月十一日勅令第二十五號を以て郵政儲金法を、部令第七號を以て郵政儲金規則が夫々公布せられ五月一日より新制度の實施を見るに至つた。

商況欄 (五月六日)後場

●上海標金 前引 二三、二
●上海爲替
日本向 第一回 賣 一〇四、八七五 買 一〇五、一二五
倫敦向 第一回 賣 一志二片一六分五 買 八分五
紐育向 第一回 賣 二九弗一六分三 買 八分七

株式相場 (短期)

十連株式 寄 引

銘柄	寄	引
五品	一七、八〇	―
日新	三三、〇〇	―
新新	一三三、一〇	―
滿鐵新	六三、一〇	―
同新	四〇、一〇	―
日産新	八八、五〇	―
鐘新	二四四、〇〇	―

天株式 寄 引

銘柄	寄	引
滿取	一四四、五〇	―
東新	一五四、四〇	―
日産新	八九、五〇	―
鐘新	二〇八、五〇	二〇四、〇〇
五品新	三三、〇〇	―
豆新	[illegible]	―
滿鐵新	六三、一〇	―
同新	四〇、〇〇	―
電中	三三、五〇	―
滿毛	―	―
日魯	一三、三〇	―

新京取引市況 (五月六日後場)

現物(一石値段)	寄	引	出來高
大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
米高粱	―	―	―
吉豆	―	―	―
小豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―
五月限	七、一〇	七、〇二	一三〇車
六月限	七、一一	七、〇七	二一車
高粱			
四月限	―	―	―
五月限	四、六〇	四、六一	五車
六月限	四、五三	四、四〇	九車
七月限	―	―	―

手形交換高(六日)

國幣 六三二、一〇五、七九一四六

天氣

けふの天氣 北寄の風晴一時曇り
日の出 前 五時二四分
日の入 後 七時四八分
月の出 前 三時 三分
月の入 後 三時五一分
きのふ氣溫 最高 一一度五 最低 三度五

スターリンは何故トロツキーを排撃した？

レーニンなき後の兩者の抗爭（下）

ソヴイエトの敗戰めざす

先頃の陰謀事件の公判でも證明される如くソ聯内のトロツキー派の活躍は今なほ非常な勢力を持つてゐる、それは比較的小數の知識的指導者に限られてはゐるが、彼等は現政府の政策を彼等の革命の理想の倒錯とみてゐるのだ、彼の理論は從來大衆に呼びかけたこともなく、また呼びかけ縁ともしなかつた

彼は萬事を當然勃發すべき戰爭におけるソ聯邦の敗戰によつてトロツキー一派が政權を握つて世界革命に邁進するといふ一路に賭けてゐた、「戰爭」といふ掛札にトロツキーは彼の成功の機會を賭けてゐたのみならず、彼の一黨の生死をも賭してゐた、本年一月の公判によればトロツキーは皮肉にも彼等にソヴイエトの敗北のために活動すべく指令また敗北の時期を早めるために戰爭勃發を促進させ、テロ暗殺、怠業等その他を遂げるためのあらゆることを企てる可く指令したといふのである

國外のトロツキー派とソ聯内の同志との間に地下連絡のあることは餘程前からソ聯當局でも感づいてゐたが、かゝる接觸が如何に危險であるかを如實に知らされたのは一九三四年冬のキーロフの暗殺事件であつた、タール、ラデツク等は公判においてキーロフ暗殺の企てはその前から豫知してゐたし、さらにトロツキーの指令によつて各自他の現部派遣を暗殺の計畫であつたと述べてゐる

トロツキーの卓拔せる人間的魅力

ソ聯政府がトロツキーを追ひ出したのはさらに他に一つの理由がある、當局は不本意ながらもトロツキー危險であると本音を吐いた結果になつてゐるが、トロツキーの思索家として、また實行家としてのならびなき才能をソヴイエトは認識せねばならぬ筈であり知つてゐたのである

然し一度流刑された者が當然辿るべき道、沒落、隱遁の運命を彼もまたまぬがれ難きものに考へてゐたであらう、併し彼トロツキーのみは異つてゐた革命家としての永き經驗と卓拔な智能の所有者であるのみならず、彼は並々ならぬ友人の信愛を獲得することの出來る人物であつた

筆者の腦裏に浮び上る恐るべき公判の最も華やかな立役の一員は、元モスクワ軍事委員ムラロフである、彼は自分はトロツキー主義者である故に徹頭徹尾トロツキー崇拜者であると公言してゐる

要するに彼はトロツキーを信愛し崇拜し、彼に誠實であるために國家に對するより大きな義務をも捨てたのであつた

農村經濟更生へ吉林省の資金貸付

まづ扶餘縣に實施

【吉林國通】吉林省公署において現下農村の疲弊の原因が當に建國後の匪禍、天災或は内外經濟界の異常なる變動にあるに非ず、その根幹は農村經濟組織自體の不備に在ることに留意、今回これが禍因をせん除する爲農村經濟更生資金の貸付を實施することに決定したが、右は本年度扶餘縣を指定縣となし農、畜產、林業各個の經營指導を圖るもので、滿洲國の產業開發計畫遂行に多大の貢獻をなすものとみられる、細目左の如し

△目的　農家負債整理、小作慣行の改善、實行組合の普及、農事共同施設、備荒共濟施設の充實
△方法　縣當局に農村經濟更生委員會、現地に同實行組合を設置する
△利息　負債整理、經農兩資金とも年　割率
△返還　全額返還は康德七年一月末

通化事件五周年記念

きのふ擧行

【通化國通】去る昭和七年五月六日暴虐あくなき匪首唐聚五のひきゐる匪團數百が當地に襲來し來り無津副領事以下在留日本人二百名に毒刄を加へんとした一刹那急報により奉天を始め各地より出動した警察隊の決死的奮鬪によつて危く脱出するを得たいはゆる通化事件の五周年記念日を迎へ當地領事分館では午前九時より右戰爭において壯烈なる戰死を遂げた坂元警部および皆島巡查部長の追悼會を執行次いで當地の在留者ならびに部隊參加者より生々しき血の記錄を思ひ起す講話があり、正午有意義に散會した

通北森林警察隊趙匪を擊退

【齊々哈爾國通】龍江省警務廳着電によれば四日午前通化北縣鄉金店森林警察隊に突如趙匪系二十五名來襲、警察隊は來栖指導官以下四十名をもつて直ちに應戰交戰二時間の後これを擊退した、匪の遺棄死體七名負傷十數名わが方の損害は不詳

滿鐵々道教習所奉天移轉

【大連國通】滿鐵の鐵道現業員養成機關鐵道教習所の奉天移轉は鐵道總局が奉天に新設された今日速かに實行すべきであると先般來研究中であつた滿鐵では、四日午后重役會議を開催して協議の結果奉天移轉を決定今秋の地方行政權移讓後建物の融通のつくのを俟つて移轉を實行することゝなつた

錦州省公署警務廳に衞生科を新設

【錦州國通】治外法權の全面的撤廢を目捷に控へ、錦州省公署警務廳では各般にわたる警務機關の内容充實を圖りつゝあるが、今回從來の保安科内の一部門たる衞生股を同科より分離して新たに衞生科を新設することゝなり目下中央に對し認可申請中である、新設衞生科の陣容は現保安科衞生股所屬余員と新たに日系官吏三名を增員、科長には濱江省公署より轉任の大人榮次郎技正が決定してゐる

兩見本市へ朝鮮出品

【京城支局】北支並に東亞見本市への鮮内出品者は十店であるが、京城府内の出品者は來る十二日出發、地方出品者と十五日奉天で落合ひ天津日本商業學校に於ける十七日より三日間の北支見本市に出品後引續き二十五日より四日間大連取引所に開催される東亞見本市に參加する事となつた

小守玄川氏新聞生活卅周年記念祝賀會

【龍井國通】間島新報社兼圖們支社長滿洲弘報協會圖們特派員玄川、小守重保氏は明治四十年操觚界に身を投じてより來る五月四日をもつて三十周年を迎へ、この間終始一貫高潔清節の筆陣を張つて來たが、在圖們各機關代表者、官民有力者は氏の業績を感謝し活躍を祝福するために來る五月九日圖們劇場において小守玄川新聞生活三十周年記念祝賀會を開催することゝなつた

同氏は明治四十年五月和歌山縣牟婁新報編輯長を振り出しに同社主筆、北鮮日報主幹兼主筆を經て昭和二年紀伊半島日々を創刊、社長兼主筆、昭和四年北鮮日々主幹として再渡鮮京城日報清津支局長に轉じ更に昭和八年間島新報主筆として入社現在圖們支社長である

吉鐵管下模範愛護村工作

【吉林國通】吉鐵における本年度模範愛護村工作要綱はこの程成案を得たが、それに依れば左の如く模範村設置に當り内容の充實に主力を置き治安、文化、產業の各方面における整備を急ぎ、關係縣旗行政當局と密接なる連絡の下にその特殊使命の達成に資せんとするものである

一、農家組合の設立、および強化
一、農產品評會開催
一、農具共同購入
一、種子の共同消毒
一、造植林の奬勵
一、副業指導
一、衞生思想の普及
一、冬期における愛護村懇[illegible]開催

第四回滿洲社會事業大會五日より大連で

【大連國通】第四回滿洲社會事業大會第一日は、五日午前九時半から神明高女の神明會館において開催され、武部會長、白石、黃兩副會長はじめ丸茂市長、守中大連醫院長、多田滿鐵地方課長等役員その他全滿社會事業關係者三百三十餘名出席、まづ日滿兩國々歌合唱、武部會長の式辭、つゞいで同祝辭あり、總會に移り議長に白石副會長を推して議事に入り宣言決議をなし議題の討議は第一、第二分科委員會附託することゝして第一日を終了した

關東局普通試驗

關東局では本年八月二十三日より大連第一中學校において普通試驗を施行するが、試驗科目ならびに日割は左の通りで、受驗希望者は受驗願書に履歷書、本籍地市町村長の身分證明書および寫眞を添へて七月十五日までに關東局官房秘書課へ提出せられたいと

試驗科目並に日割

昭和十二年八月廿三日（月）
午前　歷史（國史および外國歷史の大要）
午後　國語（作文）　漢文（白文訓點および解釋）
同　八月十四日（火）
午前　數學（算術）
午後　地理（日本および外國地理の大要）
同　八月二十五日（水）
午前　法制（憲法、行政法民法、刑法の大意）
以上の科目は必須とす
同　八月廿五日（水）
午後　經濟（大意）　簿記（官用）　支那語（會話および譯文）　英語（右同）
以上の科目は受驗者をして豫めその一を撰擇せしむ
同　八月三十日
筆記試驗合格者に對し法制につき口述試驗を行ふ、なほ提出すべき書類の書式その他詳細は、四月十九日の官報四月六日および七日の關東局々報または關東局官房秘書課につき承知せられたい

農工商訪日視察團歸滿

【大連國通】三江省樺川縣公署ならびに協和會支部主催依蘭、樺川、勃利三縣合農工商訪日視察團一行團長宇啓錦氏以下二十三名は小所善太郎氏に引率されて約一ヶ月にわたり内地各主要都市を訪問、農業方面で、名古屋郊外の安城の模範村、商業方面では都市のデパート、工業方面では大阪、東京の大工場をそれぞれ視察多大の收穫を得て午前入港の吉林丸で歸滿した、一行は大連にて解散、それぞれ現地に歸還した

ガーランド氏奉天發北支へ

【奉天國通】四日來奉一泊した米國オリンピツク委員ガーランド氏一行は、五日午前八時廿分奉天發直通列車で關係者多數の歡送裡に一路北支に向つた

松花江の鵜飼開き

【吉林國通】吉林名物松花江鵜飼開きは來る十六日（日曜日）新京よりビユーロー主催の吉林遊覽飛行團體第一、第二班百十餘名を迎へ同日午後一時より吉林[illegible]民館附近より鐵橋まで、春風そよぐ松花江上において開催されることゝなつた

吉林農民習練生入所式

【吉林國通】農村中堅青年養成の爲實業廳が年々各縣より選出する農民習練生第三期生廿一名の入所式ならびに耕排式は本五日午前十時より江南農事試驗場内に於て省長實業廳長以下各關係者參列の下に盛大に擧行される事となつた

大陸科學院彙報

滿洲國の綜合的科學研究機關として豐富な國内資源の開發に重大な役割を持つ大陸科學院では國内唯一の純粹科學雜誌「大陸科學院彙報」の發刊を計畫してゐたが、このほど準備成り、去る二日の宣詔記念日をトして創刊號を世に送つた、同彙報は隔月發刊で、當分滿洲[illegible]術協會および滿洲文化協會の手で發賣されることになつてゐるが、創刊號には大河内、鈴木兩顧問の論文を首め川上研究官以下同院所屬研究員の大陸科學に關する研究調査の結果が發表されてをり、就中川上研究官の「熱河地方の奇病、地方病的甲狀腺腫」に關する研究、小笠原本圀、長山諸研究官の「農業動力および風力利用に關する研究」は今日論議の的になつてゐる問題だけに各方面の反響をよんでゐる

軍犬支部に寄附

滿洲軍用犬協會新京支部では役員、其他關係者一體となり一戸一犬を目標としての活躍奏効し會員數に於て飼育犬の素質に於て斷然面目を一新してきたが支部の絶へざる活動に感激した清水組赤澤菊雄氏は犬舍一棟を、關東啓之助氏は金一封を、立石獸醫は卓上電話をそれぞれ寄附申出であり支部ではその厚意に感謝し採納することゝなつた

ラグビー解說（二）

審判　者は一人の主審（レフリー）でその補助に二人の線審がある主審は規則、事實、時間總て絶對權をもち競技規則の解釋は勿論萬事主審の認定に依るもので萬一主審が誤つて事實に反した認定をしても之に服從しなければならないのみならず一度斷定を下した以上主審自らと雖も之を飜す事を得ない、時間に就いても同樣中止又は延長する事を得るのみならず主審が時計を見誤つた爲めに時間に相違を來したやうな場合にも何人もこれに容かいすることは出來ない、主審はこの樣に廣汎な權限を有すると同時に凡ての判斷は自ら下さなければならない、自ら判斷を下すに先立つてタツチジヤツヂに諮問する事は出來るがそれは線審の職權内の事項にのみ限られてゐる、然も諮問した場合と雖も必ずしもそれを採用する必要はなく線審の判斷を無視し得るのみならず場合に依つてはその線審を退場せしむる事すら出來る、レフリーが線審以外の者に諮問し得るのは自分の時計に故障を生じ更に線審の時計も不正確な場合に他の人に時間を聞ひ得るのみその他は何人と雖も何事も相談することを許されない

線審（タツチジヤツヂ）の職務は單なるレフリーの補助で球がゴールポストに入つた時及び球又は球の保持者がタツチ又はタツチインゴールに出た時に旗を揚げて之を知らせるのである、線審は審判としての權限なくその職務内の事と雖もレフリーの判斷には服さねばならぬ、如斯レフリーに絶對の權限があつて始めて猛烈な肉彈戰も愉快に滑かに行はれるので若し抗議が許されるならばこの樣な競技は到底行はれ得ない

チームの編成　元來ラグビーでは競技者の總數が各々十五名に定められてゐるだけでその編成は自由であるが、普通は前衞（フオワードF・W）が七人又は八人、中衞（ハーフバツクH・B）が二人又は三人、後衞（スリーコーターバツクT・B）が四人殿衞（フールバツクF・B）が一人と云ふ具合に編成される大きな對抗試合になればそんな事もなからうが、どうかすると誤つて人數の多過ぎる事などあるがこんな場合は試合中でも申し出て減員を求めることが出來るがその時以前になされた得點に對しては影響を及ぼさない、また試合が開始された以上途中如何なる理由に依るも補缺は許さず負傷者等が出來ても最後の一人になる迄試合は續行されるのである、編成が出來れば兩方の

主將　はジヤンケン等に依つて、最初に守る可き陣地（サイド）を決定する、ジヤンケンに勝つた方は自分の守る可き陣地を選ぶか或は始蹴（キツクオフ）をとるかの權利がある、勝つた方が守る可き陣地を選べば負けた方がキツクオフをし、勝つた方がキツクオフをすれば負けた方が陣地を選ぶ事になる

試合　時間は試合の開始に先立つて兩チームの主將に依つて協定されるので英國などでは國際試合は各四十分と規則に定められて居るが我國では單に四十分以内と規定せられて居るのみで普通は各三十分位で最近は各三十五分位の試合を行なはれる、試合時間は各々相等しい二期に分けられ中間に五分の中休が加へられることになつて居るから例へば試合時間が各卅五分と定めらた時はこれに中休の五分を加へて全時間は七十五分となり、此の時間内に雙方の得た得點の多寡に依つて勝敗を決するので若し同點の時は引分として時間の延長等は行はない、萬一時計の故障或はレフリーの錯誤等に依つて試合時間が協定した時間と一致しない場合が生じても試合はそれで完全に行はれた事になる、レフリーが競技の續行不可能と認めた時は試合を中止し又は競技者の負傷した場合その他何等かの事由に依つて必要と認めた時は三分以内の試合停止をすることが出來るそして夫等の事故に依る遲滯に對してはその失つた時間だけ延長する事も出來る、なほ中休後は陣地を交換す

家庭

万病の因・常習便秘の手輕な家庭療法

原因はいろいろある

先づ食餌を注意せよ

▽原因

(一)生れつき便秘症のもの(二)少しの便秘を氣にすることから神經系統に異常を來して起る場合、(三)、喫煙から來るもの、(四)折角起つた便意を無理に抑へつけてそのまゝにする様なことが度々あつたり又何かの必要で浣腸が度重つたりしたとき、(五)、運動の不足から來る場合、(六)纖維の少い食餌例へば肉類、または製粉した穀物から作つたものばかり食べてゐると便秘が起ります。

便秘にもいろいろありますが常習性便秘といふのは大腸の蠕動運動(消化されたものを先へ送る運動)に異常があつて、その爲に腸の内容物の運行が遅れる爲に起る便秘を指していふのであります。

▽症状

下腹が張る様な感がして下腹を壓へてみても硬い、頭が重いとか頭痛がするとか、眩暈がするとか、または逆上するとか、或ひは何となく不安な氣持のなりますそしてお腹が鳴つたり多少痛んだりします。場合に依つては便秘が長く續くと便の有毒成分が血液中に吸收されて中毒を起すやうなこともあります。また痔核がよく便秘と一緒に起ることがあり便秘の爲に胃を惡くすることもあります。時に便秘の間にかなり激しい下痢を起す場合もあります。

▽療法

下劑をかけるとそれが習慣になつていつも下劑を下さねばならなくなり、またそのあとが便秘することもあるので下劑はなるべく使わぬ方が良いです。家庭で最も手輕に出來るものとしては食餌療法が第一です。

(一)先づ主食として普通の白米飯の代りに半搗米(若しくは玄米)または麥飯を食ふこと

(二)副食物としては豆類、馬鈴薯、甘藷、ほうれん草その他の野菜、果物、牛乳、黒パンなどを摂ること、また寒天の食物が効果をもたらすことがあります。

(三)毎朝食時に茶匙一杯の蜂蜜をなめるのもよい。

(四)一日中座つて仕事をする人は時々立つて運動すること

(五)毎朝洗面後、生水または食鹽水をコップに一杯飲むこと

(六)朝食前に必ず便所に行く習慣をつけること

(七)時々平手でお腹を摩擦すること、又腹に力を入れる腹式呼吸や歌舞音曲等もよい

(八)ひどい便秘で苦しむ時は毎食後二―三時間、及び就寝時に腹部に溫濕布を行ふこと

(九)入浴は體が溫つて內臓に溫度の刺戟を與へるばかりでなく運動にもなるし殊に痔疾を伴ふ場合は、努めて湯に入ること

(十)以上の注意をしても尚便通がない時は下劑として、カスカラ錠、ラキサトール錠等を用ひ、また微溫湯で浣腸します。場合に依つては石鹼を溶いて三百瓦ぐらいまで浣腸に用ひます

▽▽▽▽▽

風薫る五月　今こそ皮膚の手入れを!

…青葉の…

候、皮膚の手入れに一年のうち一番よい時です。まづ一般の皮膚の手入れですが、寝る前には必ずお化粧やよごれをきれいにとることをお忘れにならないやうに。日本には寝化粧などと云ふ言葉もありますし、また外出から歸つた時など疲れてゐるのでつい面倒くさくなつてよしてしまいますが、必ずお忘れにならぬやうに。

…お化粧…

次にやよごれをおとしたら其あとへコールドクリム(なるべくならストロベリー・コールド・クリーム)をぬつてそのあとをガーゼか手拭ひできれいにおふき下さい。かうすると毛穴がきれいに皆んな開いてしまひますからそのあとへは何もつけないでお寝み下さい。これは誰でも御存じのことですが、たゞ毎日怠けずに必ずやると云ふことが出來にくいことなのです。また忙しい人や經濟に餘裕のない人はいろいろ化粧品をそなへることが出來ないからーなどとおつしやりますがコールド・クリーム一つあればあとは

…子供を…

ねかしつけてからでも出來るのですから

次に顔のアレてる方、ニキビの多い方、ソバカスのある方男の脂の強い方ーについてご注意を申し上げませう。顔はなるべくお洗ひにならないやうに。口と目だけをゆすぐだけぐらゐにしておいて下さい

日本の婦人は一般に顔を洗ひすぎたり、無暗にこすりすぎたりするやうですが、これは大變間違ひです。指のさきへコールド・クリームをほんの少しつけて約五分位マッサージ致します。それも顔の外側へ輪をかく

…氣持で…

横にマッサージをなさいませ。縦にこすることは正しい仕方ではありません。ニキビの多い方は顔をお洗ひになる時にホーサンをあつい湯にとかしてそれであたためたタォルで二三度おむしなさいませそしてそのあと冷たい水でお洗ひなさい。そして朝起きてからはアクネ・クリームをおつけになるとよいでせう。ソバカスの多い方は別に手入れでソバカスが目に見えてなくなつて行くと云ふやうなことはありませんが、ソバカスと云ふものは強い日光にあたると色がこくなつて表面に現れるものですから、これからの夏の日の強い

…光線に…

はなるべくおあたりにならないやうに氣をおつけになることです。ですからクリームなども、日光をさへぎると云ふ程のことではありませんが、てツクルクリームをお使ひなさいませ。

連載漫畫【51】

漫畫大明神　田河水泡

日曜は仕事にどう影響するか

能率と休息の關係

職をもつものの總てが何よりも樂しみにして待ち望んでゐるのは日曜日或は休日であります。此の休日といふものが果して仕事の能率を増すものかどうか、又

…日曜日…

と其の前後とでは能率の上でどんな變化が現はれるかを知り、日曜日をどう利用すべきかを考慮してみるのは決して無駄でないと思ひます。工場作業又は實驗的作業のやうに、同一の簡單な仕事を繰り返すものにあつては、休日の間に幾分か失はれた練習の効果が、休日の後に來る六曜の間に次第に恢復せられて行く事實が重きをなすために、月曜から土曜に至る迄次第に其の作業能率が増進して行く傾向を示します併し毎日の仕事の量が相當大きいか又は個人の心身が丈夫でない爲に、積り積つた疲れ

…減退す…

るのは、日曜の翌日であるだけに不思議

…能率が…

がだんく現れて來て、木曜金曜又は土曜頃から作業減退し始めるのもあります

一般社會活動或は學校作業等のやうにその仕事の內容が絶えず變化してゐるものゝ場合には、簡單な作業を反復する場合とは、違つて、一日の休養後最初の月曜か、時としては火曜あたりに其能率が最も高く、それから土曜日迄は疲勞の影響が著いて次第に其作業能率が減退して行くのが解ります。以上のやうに三つの異なつた場合がありますが、休日直後の一日は能率の上で惡影響があり火曜から上つて一時水、木曜の中間で再び能率が下つて、又土曜日に上るのが普通なのです。月曜日に能率が著しく

の緑ですが、休日には眞の慰安休養をとる事が少く、仕事に對する氣分をだらけさすか又は遊びすぎたり不攝生な娯樂に耽つたりする爲に、反對に休日が疲勞を増してゐるからで、土曜に能率が下るのは休日が迫つたゝめに最後の努力をするからです。過度の勞働に從事してゐる者は休日の影響が顯著であるばかりでなく休日そのものが良い結果を來します。或る場合には疲勞しすぎると遊びが出來ないからといふ理由もありますが同じ一時間又は一日休養しても、疲勞の累積が大い程

…恢復も…

亦著しいのです。然し休養の仕方如何に依つては、最も能率の低下する月曜に於ても能率を増進し得るといふ事を考へねばなりません。此の事は職を持つ者の總てが日曜を如何に寄すべきかといふ重大な事柄を明かにしてゐるからです。一週間の仕事の能率に關聯して日曜がどんな意味かと云へば第一にその日(休日)に至る迄の疲勞を恢復せしむる事と、第二には次いで來る活動に對して精力を蓄積することです。第一の目的に對しては十分の休養をする事、第二に對しては

…戸外で…

の散策運動や樂養分を攝る等が誰でも知つてゐる明白な事柄ですが、第一と第二との何れを主にするかは休日後の仕事の如何によります。休日後直に重大な仕事をしなければならぬ場合には第一の靜養を主にしなければならぬし、休日後の能率は多少落ちても長い間の働きを助長して行くのを主眼とする仕事にあつては、幾分の疲勞はあつても遊びや運動を主にしなければならぬのです。若し職業婦人の方などは特に注意して眼を疲らし、精神を興奮せしむる映畫や不完全な遊びに耽る事なく、休日には戸外に出るやうにするのが仕事の爲いゝと思はねばなりません。

ラヂオ　けふの番組

(M・T・D・Y)新京放送局　七日(金曜日)

▽夏場所大相撲始まる(十三日間)
▽東京品川の海晏寺創建(建長三年)
▽本居宣長生る(享保十五年)
▽我國最初の博士號授與さる(明治廿一年)
▽ビスマーク狙撃さる(西暦一八六六年)
▽ロシヤの作曲家チャイコフスキー生る(西暦一八四〇年)

※朝※

六、三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
六、五〇 初等滿洲語講座(大連)講師 秩父固太郎
七、一五 朝の音樂(大連)
七、四五 建國體操
八、〇〇 氣象通報(大連)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 家庭講座(大連)
戸外シーズンの注意種々　大連警察署保安主任 熊谷德治
一〇、二〇 料理獻立(奉天)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、四〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 經濟市況(大連)
一一、四〇 經濟市況(東京)
一一、五九 時報(東京)

※晝※

〇、〇五 ―豐劇スタヂオより中繼―PCL作品
青春部隊　原作、脚色 永見隆二　監督 松井稔　音樂 谷口又士
大川平八郎　千葉早智子　御橋公　竹久千惠子　江戸川蘭子 外
〇、四〇 ニュース(東京・新京)
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース(東京・新京)
四、三〇 經濟市況(大連・新京)
五、二〇 ニュース(鮮語)
詩の朗讀(鮮語)
一、春宵　柳信烈
二、川邊

※夜※

六、〇〇 子供の時間(大阪)お話眞田幸村と忍術　大澤休象
六、二〇 コドモの新聞(東京)　村岡花子
六、二五 講演
宣詔美術展覧會の印象　宣詔記念美術展覧會相談役　粉林桂月
七、〇〇 ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 相模の夕(東京)―横須賀山崎記念館より中繼―
一、横須賀市歌　横須賀港響樂團
二、小田原音頭　小田原連中
三、厚木音頭　厚木連中
四、殿サ節
五、ややこ　葉山連中
六、虎踊り
七、お船唄　浦賀連中
八、軍港節　横須賀連中
八、三〇 浪花節(東京)
次郎長外傳　大瀬半五郎　木村忠衛
九、〇〇 時事解説(東京)
九、三〇 時報・(東京)ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇、〇〇 吹奏樂(大連)
滿洲電業吹奏樂團　指揮 高津敏
一、行進曲　フローレンスの人々　フシック作曲
二、圓舞曲　金と銀　レハール作曲
三、舞曲　村の鍛冶屋
四、接續曲　アイルランド民謠集　ベーキヤ編曲
一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)

PCL花形總出演　青春部隊

(後〇・〇五)豐劇よりトーキー中繼

原作 脚色 永見隆二　監督 松井稔　音樂 谷口又士

配役

若園(大學生) 大川平八郎
日高(同) 佐伯秀男
宮内(同) 北澤彪
石坂(同) 三木利夫
寺田(同) 丸山章二
若園の母 英百合子
宮内の姉(洋裁師) 千葉早智子
寺田の父 御橋公
緋紗子 山縣直代
映子(女學生) 堤眞佐子
小唄師匠 竹久千惠子
かすみ(茶房の少女) 椿澄枝
日高の許嫁 江戸川蘭子

(學校)

近くの茶房ジョリモンドには毎日大勢の學生が集まつてマダムや少女達を相手に賑かな空氣を醸してゐた、とりわけ日に立つ常連は母と二人で郊外に住む若園、ラグビー選手の日高、質屋の伜で小唄道樂の寺田、金持のお坊ちやん石坂等である、茶房の少女かすみは日頃私に日高君を慕つてゐたが氣持を表には出さなかつた、若園は隣家の女學生映子と顔を合せる度び毎に喧嘩ばかりしてゐたがそれも仲がよすぎるからであつた、學校でも有名な勉強家の宮内は或日路上で寺田の妹緋紗子と知り合ひ一目で戀をして了つた、彼女には石坂もとくに目を付け毎晩のやうに質屋に現はれて番頭の忠どんに嫌はれてゐる、だが内氣な宮内は切ない胸を抱いて一人で惱むだけである、宮内の姉貴美子は一流の洋裁師で弟想ひの優しい女だつた、弟の卒業を唯一の樂しみにせつせと働いてゐた、かくする内最後の學生試驗が近づいた併し寺田は泰然として毎夜小唄の師匠の家に通ひづめ師匠の流し目にヤニドつてゐた所が放夜討らずも師匠に養はれてゐる亭主こそ母校の先輩で常に茶房に現れて大言壯語する有賀である事を知り互ひに狼狽した、片思ひの宮内も勉強に手がつかぬ、必死の覺悟で寺田質店の暖簾をくゞつたが石坂とばつたり顔を合せたので夢中で逃げ歸つた、弟の質屋通ひを知つた貴美子は誤解して彼を責めた、寺田は姉に一切を打ちあける、弟想ひの姉は思切つて質屋を訪れたが丁度その時は寺田に愛想をつかした父親が緋紗子に花聟を迎へて祝言の最中であつた、かうした失戀も、また様々の喜びも試驗が終ると解決された

(卒業)

就職宮内も姉に勵まされて元氣をとり戻した、長らく遊んでゐた有賀も就職した、若園と映子は喧嘩友達からスヰートホームに進展しそうである、日高は就職と共に素晴らしい許嫁を一同に紹介したかすみの失戀だがそれも美しい想ひ出として長く彼女の胸によみがへるであらう、そして今宵ジョリモンドでは一同の卒業祝賀會が華々しく擧行された、新しい背廣に面を輝かせた彼等、かすみは涙をかくして一同の合唱を指揮した(寫眞はその一場面)

賑かな趣向凝して　相模の夕

七・二〇　横須賀山崎記念館より

一、横須賀市歌　北原白秋 作詞　山田耕作 作曲　横須賀港響樂團

(一)旭日の輝くところ饑たり深き潮、艨艟城とうかび清明富士は映れり(勢へ我が都市横須賀、横須賀大をなさむ)括弧内以下同じ

(二)金鐵の貫くところ繁たり響け軍都、工廠光赤く營々人は擧れり

(三)聖慮の普きところ饑たり見よや東亜、天業こゝに高く皇國護り康し

二、小田原音頭　福田正夫 作詞　大村能章 作曲　小田原連中

「あゝ相模來て見りや海さえ燃える、濱のみゆきにや砂の文字、どどんと小田原海どころ、波の枕に鐘の聲

「あゝ潮のよる瀬の仇波せいて、町は海山間の關、どどんと小田原海どころ、波の枕に櫓聲きく

「あゝ雪白のかまぼこ鹽辛小梅干、戀の据膳誰にする、どどんと小田原海どころ、波の枕に棣を待つ

三、厚木音頭　―厚木―　〆治 外

「淸き流れの相模川、舟をうかべてすなどりを、とるてお そしとまちわびる、このてがしわの大舟小舟、岸にこだまの賑ひは、流にうつる川千鳥しらべにかよふ客の聲とうねもよいよいやさ

「ほかけの舟に棹やすめ、まむきの山も青々と、しげるすゝきから水の音、ふきおくられて川々へ、あそぶ小舟の心よさ、おもひをここに相模川客のある日をいとよなほ、よいくくくく世の中

「げにいさましのますらをが玉の浦なみけたてゝ、駒をうちなすうらかたを、ゆみにつる糸たらししめ、をどりこんだろ魚の名を鮎と仰せのはじめとやもろともいさみてさいさきをよいくくくく世の中

四、殿サ節　―葉山―　伊東鬫五郎

「殿サアーエー殿サ聞いて吳りやれ見て吳りやれ、殿サ私とお母さんと糸取つて居たら、裏の窓から鳥渡文を投げた、私に當れば何の事もないが、お母さんに當つてつい間の惡さ、取るにや取られず糸なし車、言ふにやいはれず坊さんの頭、聞くにや聞かれず聟の話、見るにや見られず按摩さんの芝居、立つにや立たれず　さんの喧嘩、そこで私もどうしやうかと思ひましたヤンレイ

「殿サアーエー殿サ聞いて吳りやれ見て吳れやれ、殿サ可愛御方と添いたい爲に方々神様に心願掛けた、一に伊勢の大日様よ、二には新潟の白山様よ、三に讃岐の金毘羅様よ、四には信濃の善光寺様よ、五つ出雲の若宮様よ、六に六角殿虚空藏様よ、七つ七尾の天神様よ、八つ八幡の八幡様よ、九には熊野の權現様よ、十じや所の氏神様よ、掛けた心願叶はぬ時にや、水に字を書き大蛇と化けて、様の御寝間にフラフラとさがる、ヤンレイ

五、やゝこ　―葉山―　伊東吉五郎 外

「新玉の年のはじめに門には門松門飾子、門松の一の小枝に孔雀が止りて羽根休む羽根がへにや、錢を包んで口には貴金をくわへそへ、その鳥が二度と止れば末代長者で暮します

「鎌倉の御所の御庭に十三になる子が酌に出た、酒よりも肴より十三になる子が目につい た目につかば、連れて御座れよ女子は何處の纖ちやもの「十七が彻の身持に淡島様へと願を掛け、この產が輕く下りたら手拭七へず、鐘の緒に白紙に供米包んで水晶の御珠數で拜みます

六、虎踊　―浦賀―　石川エイ 外

(本調子)

一、伊勢の神風ほどよく吹けば、浦賀港は船ばかり

二、虎は千里の藪さへ越すが越すに越されぬ、障子一重がまゝならぬ、ヂンチリガッくシャン

(三下り)

チヤチヤラくチンカラ、チンボリオケケラ、チンミョウくく、ウワスーイピックリへケくく、パンニヤカクサイキンナイト、ペツペケキンカントウ、ジョコスシュツミョウオンチカロクシンキュウシンホコ、ボコホコミョウくくナカくサカツキ、エ、スエーエ、エ、スエススリヤ、オンヂヤコチコー、チーヤソッチオンヂヤコチコー

七、お船唄　―浦賀―　岩本榮太郎 外

この唄は浦賀町叶神社の祭禮のとき神輿が浦賀港内渡御の際新井洲崎の若者達が船中にてうたつたものである

上取揖一番

「あゝら目出度いな御代―わ―目出度―は、は―の―、の―ほ―ゑ―ゑんそ―れ、は―わ―いか―

(附)

枝もえ―ゑ―へ―榮ゆ―の―ゑ、く―は―の―ほ―、あ―あ―も―

初春

目出度や初春の行緋　の蒼脊那革

「エン小櫻　しと成にけり、エンさて赤夏は卯の花の、エン瀧根の水に洗ひ革、エン秋に成りての耳色は毎日軍に勝色のエン紅葉に間違錦革多は雪氣の空晴てエン甲の星の菊の座もエン花やかに祉　毛の思ふ敵は打ち取るエン我名を「エヤア「高く揚幕のエン劍は鞘に納置弓矢袋を出さずしエン富貴御代と成にけりやんらく

上取揖一番

「き―み―さ―ま―あ―わ―あ―さ―にさ―げを―が―くれ―な―いか―人のめ―ぎつ―の―ゑ―

八、軍港節　田村西男 作詞　杵屋榮藏 作曲　―横須賀―　胡蝶 外

諏訪の山から横須賀見れば、煙る中から槌の音、戰艦陸奥もこゝから產んだ、熱と力と勇氣と意氣の工廠へドント來い、ドント打つかりや波の花(ドンド來い、ドンド來い、ドンと來い)括弧内以下同じ

軍艦三笠は昔のまゝよ、ゆるがぬ姿に戀が増す、颶風來やうが高波卷こが堅い心で鍛えた胸の胸へあたつてドント來い、ドント打つかりや波の花

港は鋼の山、船は帆かけて田戸浦さして、早くあはうに待たれつ待ちつ顔見りや飛つけドント來い、ドント打つかりや波の花

水上飛行機波から飛んで、眞一文字にまつしぐら、水平線から雲湧き出よが、響くプロペラー調子ははづむ、翼目がけてドント來い、ドント打つかりや波の花

學藝

美しき五月

桃北好澄

木群明るし

まだ薄寒くて鳥肌になるやうな、そんな日昃れは此の公園には誰も來てゐないのかもわからない。アベックの戀人らしい男女がスケヱヤに立止つて話の接穂を考へてゐるやうな顔をしてゐたが彼等もぢき街へ出てゆくのだらう。空氣の透明な、こんなにひろびろとした所に來ると、どんなことを饒舌り、どんな歩み方をすればいゝのかわからなくなる。池畔を一めぐり廻つて球場の方に向いて佇つと、楡楊の木群が芽をふくんでほのぼのと明るい。うすい黄を刷いたやうにぽーつとして捉へどころのない美しさであつた。私は『それから』池邊青李氏の近ごろの繪を聯想した。池邊さんはどれもこれも樹木の畫ばかり描くのだが何故だらう…解かる氣持であつた。

薔薇と乞食

『泣いて泪の出るうちは』といふ唄があるが泣くのは實に幸せなことであつたらしい。もう大部なる。泣くのが面倒くさくなつて來た此のごろでは『幸福』といふものが非常に氣懸りで仕方のないときがある。『幸福』とは一體どんなものであらうか？、讀ろげで私にはとても解らない。例へば昔私が子供であつたころ壯麗な五月となれば門の邊りに薔薇が一杯花ひらいたが、今はその光あふれた景色の中に自分をおさめて、此の身體なぞ消えてなくなれと思ふ―まことに阿呆な話である、左樣、こんな虚妄的な愉しさが又とあらうか。心がいまは相反目し、一方では現實に苦澁し、一方では眼を眩しくして『幸福』を確めたやうな容子をする。だから一番損をし、疲れるのは身體ばかりである。

而し、昔は例へば海軍將校を夢想し未來に向つて胸を膨しても門先の花なぞ引きむしつて棄てることばかりであつた……今は私は空腹を抱へて薔薇の美しさに見とれるほど限りなく痴呆ではないであらう、然かもなほ私は『幸福』を見たやうな錯覺を起すときがある、無論、そんなときは私の愚鈍をも嗤はない。

又

中川餘一氏らの言ふ『浪漫』は大變結構である、私は未來開眼の説を讀むたびに胸に泌む思ひを殘した。輝しい未來を思はぬといふのではない、又時には女房なんかより一人の男の子が欲しいなと眞劍に考へる。こんな事を考へるのは晝でも夜でも樂しい。

然し乍ら、驚くことには未來を全然抹殺しても構はぬと一向平氣な顔をすることである。私の隣りで同僚が繪をかき「君の墓だ、昭和十二年夏寂感」と言つてニヤ〳〵したがそれを見てゐるうちに私は無性に可笑しくてならなかつた。墓は墓なみに香煙裊々と立昇つてゐるではないか――それ丈は止して貰ひたいものだ、煙たくて困るから――私はそう冗談を言ひ絶望的な愉しさの中で茫やりと死ぬことを考へた。「死も亦幸福なり」と釋迦かクリストでも言はなかつたものかと思ふ。

女體

Ｋは私がドアを排して坐るといきなり「戀がしたくなつた」と言つた。「いゝ女の子でもあるのか」ときくと、まだ見つからんけれどもと言ふ。惡い金を借りてもう幾月も只で働いてゐるやうなものだと悲觀してゐたのに、もうそんな困憊が莫迦々々しく、腹が立つて來たのであらう。自暴糞になつて、酒に紛らす金もないから生れて始めて女體が慕はしくなつたのに違ひない。溢れるやうな愛情が欲しいのは矢張り女ばかりではない。然し彼に戀愛出來る自信があるのか、どうか、大切なことを聞き忘れてゐる。

母（上）

平井輝一

此の一篇は僅か五歳にして散り果てた先輩井手氏令孃の靈に捧ぐるため病床に執筆せるものである

押し迫つた師走の風は日本中の街を氾濫の世界に吹き飛ばした。盗ッ人のやうに人々の瞳が心が重點を失つて何處も彼處も唯雜漠とした氣分を漂よはしてゐる―。

靜子は不安と焦燥に締めつけられながら、自動車の中で場末に似た騒音の街を戰慄の眸に寫してゐた。

病院へ！毛布にくるまつて四つになる良子が熱のために、ぐんなりと彼女の胸のところで喘いでゐる。額に唇を押し宛てると口の中の濕りがピリ〳〵乾いてゆくやうである

――此麼になるまで――

彼女は什うして、もつと早く氣が付かなかつたのかと自分でも本當に情無い程悲しかつた。

人間の運命と云ふものは實に恐ろしいものである、瞬間にして大きな轉換に奔弄される。それが神に對する哀號と呪咀と惡罵と讃美とそして喜悦に變つてゆくのだ。遂昨日の夕方、彼女が正月の晴着を仕立ててゐる傍で繪本に見入つてゐた良子が急に、

『お母ちやま、お頭が痛いよオ』、と云つてメソ〳〵泣き出した。

『什うしたの？良子さん』

額に掌をやつてみたが別に普段と變りはない。

『良子さんはお母さまを吃驚さしちやあ嫌よ』

彼女は縫ひかけの晴着を左に押しやると遠目をしつつ膝の上に抱き寄せた。

――なあに、一寸した疲れだから直き癒るわ――と簡單に考へすぎたのが第一不可なかつた、が、併し今迄だつて一度も病氣らしい病氣をしたことのない位丈夫な娘だつたし、それに先刻まであんなに元氣で遊んでゐたので、さう心配する程のことはないと思ふのも無理ではなかつた。常々彼女の確信した育兒法から押してゐつても決してそれは不自然ではない―。

けれども良子は何時まで經つても泣き止まなかつた。―さう眠たいのかも知れない―さう思つたがあまり泣きつゞけるので多少氣掛りになり解熱劑を少しばかり飲ませると暫く添寢をしてやつた。ところが良い具合に何時の間にか人形のやうな口を開いて他愛もなく眠つてしまつたのである。

―何でもなかつた、……あゝ良かつた、矢張り疲れだつたわ、―彼女は一人でに頬が崩れた。そして何かこう心の底に明るいものを感じた。そして安堵と輕い疲勞が幽かに汗ばんで胸や腋の下で冷たく消えてゐつた。

ジッと愛兒の寢顔を凝視めてゐると、ゆつたりと糸遊の苦勞を忘れさして暫くは本當にぼんやりとする位のゆとりだつた。

綺麗な眉毛や、苺のやうにポックリとした唇、そして淡色と赤らんだ頬が一層可愛く何の屈託もない愛着を力一杯抱き締めてやりたいのだつた。彼女がよく夫と話合ふのであるが近所の什の子よりも良子は頭も顔立ちも良くて愛嬌があつた。それに素直な性質で決して人前で行儀の惡い眞似などしたことはなかつた。そんなことが自分の性質に一番よく似てゐると云ふ點で彼女を何よりも喜ばせ、又隣り近所に對しても優越した氣分を持たせた。―此の娘は大きくなつたら什んなに綺麗な良い娘になることだらう―と自負心ではない、母としての彼女の眞面目な心を何時も樂しませたのである。

人類社會に於ける愛情が切實であればある程幸福はより一層幸福化し、不幸は極端な悲慘をもたらすものである。

―良子ちやんが病氣なんかしたら、それこそ妄氣狂ひになるかも知れない―

彼女はさう呟きながら額に輕く接吻をすると、やつと安心し、床を離れ慌てて夕飯の仕度に取掛つた。障子の隙間から時折り振り返つて寢息を窺つてみるが何か夢でも見てゐるかのやうに靜かだつた。それで遂、心を外してしまつたのだが、考へて見るとその間に熱がグン〳〵昇つてゐつたものらしい。

皮肉と云ふものは到るところに轉つてゐるもので、それが人類の悲慘な結果を生んだり、ユーモラスな明後日の出來事を與へたりするのである。

だが、此處ではその皮肉があまりにも大きな愛情を破壞し幾人もの人々の心をあくなきまでに掻きむしつたのである。

夫が務めから歸つて來た時は良子は火のやうに泣きついてゐる最中だつた。體に手をやると汗がベットリと寢卷に染み込んで沸るやうに熱かつた。瞬間、彼女はドキッとして冷水でも浴びたやうに狼狽した。

『什うしたんだ？』

夫にさう聞かれても何と答へて良いか、普段の彼女にも似合はず言葉さへも出ない位心の平生を失つてゐた。

『……先刻頭が痛いつて云ふのでお藥飲まして寢かしといたんですけど、妾がお勝手やつてる間に既に此麼に……』

彼女はもうオド〳〵して聲が咽喉元で押し潰され、唇が乾き切つて恐ろしく痙攣した。そして汗を拭き取る指先がブル〳〵と震へて止まらなかつた。

―困つたわ、什うしやう―

頭がジーンと電氣のやうにしびれた。針を射されるやうなこめかみの痛さが熱いものをグッ、グッ、と押し上げて來る。狂ほしいまでに憔悴した。

彼女の心は唯無暗矢鱈に胸の動悸を速めるばかりだつた。

額に掌を宛てて熱を計つてゐた夫が

『こりやあ、いかん』と叫ぶと慌しく醫者を迎ひに飛び出した。水を濕したタオルが直ぐ生温くなつた。良子は熱の苦痛に耐えられない全身をのた打つて泣き喚いた。良子が泣けば泣くほど彼女は無中になつて狼狽した。

『良子ちやんは良い子でせう、ねえ、だからもう泣くんぢやあないの、今お醫者樣がいらつしやるのよ、おとなしくしてね』

涙が小さい瞳にギラ〳〵と一杯溜つて熱のためにこは張つたやうに耳元へ流れてゐつた。彼女は何度も何度も掌や自分の頬で熱を計つた。醫者の來るのがじッとして居られない程待ち遠しかつた。そしてその内に良子の熱がグン〳〵昇つてゆくのだ。さう思ふと、狂ほしいまでに彼女はせき立てられた。

『あんなに元氣だつた娘が』

何だか不吉な豫感がサーッと目の前を掠めて行つた。

―莫迦なそんな、ことが―良子に限つて―

途切れ途切れに打ち消してみるが什うしてもそれが弱い儚ない反響しか與へてくれない。すると不思議に死んだ姉や父のことが思ひ出された。

―若しかしたら―フトそんな幻影が襲つて、彼女は何か恐ろしいものにでも觸れるやうにゾッと身震ひした。

―莫迦、莫迦―

いまはしい空想を揮り拂ふやうに二三度頭を叩くと左右に打ちふつた。けれども頭の何處かに喰ひ付いてゐたらしいその想念が非常な勢で執拗に纏がつて彼女の神經を押し包んでゆくのである。

『ア、……』

目の先が梅雨時のやうに薄暗くなつて、グラ〳〵ッと危く倒れさうだつたが、ガックリと齒を喰ひ縛つてやつと耐えた。

『ヨ良子ちやん、お母さま此處にゐるわ』

彼女は悄然としてタオルを水に浸すと冷たさが腕から背筋へスーッと泌み渡つて足の指先に消えてゐつた。

あまりに小品的な

—三宅豐子雪「雪消」—

「旅行滿洲」五月號は小説を載せた。それは三宅豐子の作で「雪消」といふ。歐洲への旅に出で行つた男を想ひやがて一つの決心をする記代といふ女のことが、こまごまと書き綴つてある。ジャーナリズムの臨から言へばこれは、この雜誌にふさはしい作であるに違ひない。

この作者の特徴は、細かな女性心理の動きの追究にある。ここでは、割りに單純な材料を追つて、手頃な短篇にまとめ上げてゐる。

「然し記代はこの間から、或一つの決心をまとめかけてゐた。それは落ちゆくところへ自分も落ち付かうといふ氣持であつた。」

「若しかしたら公主嶺の牧場の妻君になり、小さい男の子の母親になるかも知れない自分を、呆んやり心の中に思ひ描いてみるのであつた。」

此處に來て、ひとつの安堵を讀者は覺える。がそれとともに、作者がこぢんまりと固まらうとしてゐるのに氣付く。あまりに小品的な、といふ感じがする。もつと大きなものを作者に求めたくなる。（B・J）

カフエー淨化革進の第一線へ

所謂水商賣から健全なる事業へ

新時代の先驅を承るミス東洋の革進隊

安心出來る眞の大衆社交場　價格の經濟化と明朗のサービス　徹底したサービス料の合理化

ミス東洋經營主　前畑鎬平

滿洲事變に依つて、北滿の一寒村長春村は、一躍獨立滿洲國の首都として、名も新京と改稱され、皇居はもとより、施政の根幹　經濟の中心たる中樞機關の總てに集中されると同時に、大規模なる都市計畫は確立され、人口の增加、市況の活達は旭日の勢ひを以て進展し、將に東洋に於ける一大都市を目指して、その面目躍如たる折柄、顧つて吾カフエー界の現狀を觀るに、實に樂觀を許さずる今日にあるを悲しむものであります

事變後當時の　事を觀ますと實に業者、從業員共に、實に幼稚なもので、七八軒の店が、カフエーともどん屋とも別らぬ樣な博覽會のバラック然として、外觀や內部の、裝飾は勿論、ムッカしい顏した女給が、入らつしやいとも。有難うございましたとも、言ひどころか呑みたくて來たかと言ふ樣なサービス振り、チップの壹圓位では……それでも空くテーブルを待つて、い滿洲酒にマヅイ料理を押しつけられて、ヤンサくの大騷ぎで、相當ボロ儲けをした店も有つたでせう爾來、日に月に、人口の增加に先んじて、同業の亂立、設備の改善、宣傳の競爭、等々は、勢ひ經常費の膨張となり、加へて世相の風潮は、過度期を過ぎて、穩健なる生活狀態に推移し、近時殊に諸物價の暴騰は日常生活恐威を感ぜしめ、總ては經濟化を叫ばれるに至りました

マスターの革進訓活についで朗らかな座談會が開かれました　客席では箸もホークもとらぬ彼の女達ちもこうした御馳走にニコ〳〵と淨化意見に花が咲いて　愈々ここに革進隊の策戰は出來上りました

この秋にあたり、吾々のこの不合理な收支狀勢を、業者自體は如何に拾收するかが今吾々の大に惠眼、達觀して自ら覺醒す可き秋ではないかと思ひます、世上、カフエーは即ち水商賣である、永遠の仕事でない、短期間に儲けるべしボルべし、然して轉業すべしとは巷間よく耳にする所でありますが、時代は既にかゝる所謂水商賣でなく、健全なる事業として、豪放絢爛たる、大衆娛樂文化施設と相俟つて時代の狀勢に順應した明朗と經濟の絶對合理化された、大衆社交場として、靑樓や料理屋に超越した

享樂機關　として、家族同伴で歡樂が出來、會食に商談に、親睦に、簡單に經濟的に手輕く利用出來得る健實な事業とならざる可からずと思ひます殊に女子從業員所謂女給の質の向上に就て、現在迄、業者從業員自らも、聊か無關心で且放縱で、爲めに往々にして、徵々たる問題にも兎角話題に上る事態の頻發するは、又止むを得ぬとされた感も無きでもなかつた樣に思ひますが、既に今日は、時代に、順應して眞の職業婦人としての、意義を鮮明にし、社交場裡に働く婦人として、恥しからぬ常識と、明朗な社交術によつて、あらゆる大衆に遺憾なき氣分を滿喫出來る樣に修養訓練の要があると思ひます

來るべき問題の解決

サービス料の制定を斷行　煩はしき過去解消　女給生活の安定

要するに　カフエーの本質はあくまで明朗であり享樂的であり、簡單であり經濟的であり、即ち感覺味覺の共通した、眞面目な社交場であると同時に、完全なる慰安場でなくてはなりませぬ、從つて其享樂價値と、これに對する負擔の均衡が尤も公平でなくてはなりませんが、從來往々にしてこのカフエー本來の本質を忘れ、業者從業員均しく浮薄に流れ、自己を省る暇なく遂に「カフエーはウツカリ遊べない、馬鹿らしい安心ならぬ」等々に依る非難により、將に大衆からノックアウトされんとして居ります

私は玆に　カフエー本來の特質を把握致す可く斯業淨化革進の一線に立ち、先驅者の勇をふるい、諸物價暴騰の折柄に拘らず大英斷を以て設備の大改善、飲食物の質と量の精撰と低廉女給品性の向上、サービス料の制定御勘定の明瞭等を斷行致しまして、安心ならぬ現狀を打破し、安心出來る眞のカフエーとして專ら精進し、以て大方の御愛顧の萬分の一に報ゆる事を得ばやとの念願と共に倍舊の絶讚と、御引立の榮を願はしう存じ上げます

元來女給は古くから女性對觀客の傳統的習慣に依つて御客樣の御心付けを唯一の收入として、これに依つて彼女達は生活道を開いて居るものたる事は均しく世の知らるゝ所であります、即ち女給に對する御心附けは社會に活躍する肢るぐしい、近代人の活躍の慰安に、完全にピントの合ふサービスに依つて得る　厚意の報酬であり、感謝の進物であります

故に　相對的に無限であり、自由であり受くるもの、その多寡に係らず、只その厚意を頓首拜謝す可きであり、又無報酬とて不平を云ふ可き性質のものでありません、されば此自由の取引に對してサービス料等その言葉を用ゆるさへ、不隱當の樣に思はれますが、然し翻つて冷靜に據るに此心付けはサービスに對する厚意の報酬であり進物であるとは言ひ乍ら、無限且自生なるが故に、其程度に於て、其サービスと

其員　數に依つての判斷と、遊興圈內に於ける異性觀念と、經濟觀念とが常に、これを與へんとする顧客の腦裡に一抹の煩はしさを感ぜらる事は、確かに爭はれぬ事實と思ひます、と同時に、相對する女性も亦立場を異にする同じ觀念に捉はれるは又止むを得ぬ程と思ひます、これ即ち自由の不自由であり、不合理な制度習慣とも言ひ得られるのではないかと思ひます、故に

この　二つの立場及店主即ち三つの立場から考究された尤も合理的な公平な標準を得るならば、相互的に、この煩はしさは解消され明朗と安定の境地に達する事を得ると思ひます、勿論こゝに社會常識の訓練と修養を積んだ女性其ものゝ、性質の向上が最も先決であります私は疾くからこの點を眞劍に眞面目に苦心研究致しまして日夜女給の指導訓練に心膽を傾注し且漸く玆にこの公平な標準（但し私の店としての）を得ましたので誠に勝手乍ら思ひ切つて、この

制定　を斷行致しまして、おこがましさ顧みず、サービス料として御勘定に明記さして戴く事にいたしましたが、然し元よりこのサービス料は御客樣の御意志に依るもので絶對的のもので御座いませんから御客樣の御承認なき場合は決して頂戴いたしません（ヘ主人謹白）

若き女性のたぎる情熱の頬に　ヒラヒラと散るは櫻か花か　（階上花見茶屋にくつろいで）

酒なくてナンノ己が櫻かな（櫻花に埋もれた階上サロンの盛宴）

早くも響る革進の凱歌の聲……

弊店開業以來五ヶ年、皆樣の厚き御愛顧の賜に依つて、今日ある事を得ました事を厚く〳〵御禮申上げます

尙向後益々皆樣の御愛顧に報ゆる爲め、且吾れ等の使命の爲め最善の努力を盡したいと懸命になつて居りますから、幾久しく御引立の榮を賜はり度く一同玆に御挨拶を兼ね御願申し上げ奉ります

役職	氏名
店長	前畑鎬平
支配人	藤原繁男
會計主任	渡邊靜夫
レジスター	渡邊玉枝
用度係	稻島實
宣傳部長	鈴木正美
裝飾部長	加藤義一
西洋料理主任	山西輝美
日本料理主任	水島勝行
酒場主任	白金清
接客整理	長谷川清
食堂主任	稻桓美太郎
調理部	石川政雄
同	山本松男
同	池田良太郎
同	朝井一郎
同	林龍雄
酒場部	加納敏子
同	菊池秋夫
食堂係	今井三郎
同	安達要
音樂係	松井春子

社交係　秀子　幸子　君子　みどり　八重子　かほる　照代　彌生　富子　益美　潮　町子　濱の　早百合　みさを　孝子　絹代　澄江　美智子　叶子

光　千鶴子　八千代　忍　春美　奈々子　一枝　清美　良子　里美　都　明美　文代　榮　のぼる

ラウンドガール　もゝ子　サクラ

國都近郊をめぐる 行樂コース調査
公認地を定め大々的に紹介 近くハイク展を開催

新緑萌え出で百花一時に撩亂を競ふ大陸の春展けんとして永い冬籠りから解放された都人士の憧れは既に野に山に飛んでゐる、花信しきりに至る南滿の各都市では先年來既に當局の積極的斡旋にて近郊を巡るハイキングコース、ピクニック施設等を完備公認し、いさゝかの不安もなく都人士の行樂心を滿足させてゐるが國都新京では未だその時機至らなかつたか、僅かに一、二ヶ所に局限されてをり、各方面から非常に遺憾とされてゐた、加ふるに日に月に躍進して息まない國都人口、交通量の激增に伴ひ甚しき都塵の中に慌しき生活を送る者にとつては單に行樂といふ以上に保健上からも一日の請暇を山紫水明の近郊に避け、俗塵を拂ふことは決して無意義ではない、かゝる欲求が一般に次第に濃厚になりつゝある一方、果して國都近郊に以上の目的を達せしむる適地が豐富にあるか否かと言ふ疑問も起りつゝある際、本社は此處に率先して新京を中心とするハイキングコース並びにピクニック適地の選定に、新京觀光協會と相謀り、ツーリスト・ビューロー交通會社、鐵路局等の絶大な後援のもとに愼重に乘り出すことゝなつた、即ち同コースは國都人士の淸遊に或は觀光客の便利に資することを目的に既に第一回はさる二日本社、觀光協會、ビューロー交通會社、鐵路局の關係者よりなる調査隊にて淨月潭を視察調査したのを手始めに、續いて南嶺郊外、觀喜嶺、寛城子郊外、大房身、石碑嶺、一間堡、金錢堡、小八家子、杏花村、大屯、吉林、郭家店、第二松花江、土門嶺、龍潭山等についてそれぐ探査を行ひつゝあり、二十日頃までには大體の調査を終へその中から代表的コースは將來公認としても恥づかしくない施設を施し一般に紹介する豫定である、この計畫は國都の觀光遊覽上誠に劃期的なものと言ひ得べく早くも各方面から異常な絶讚を浴び、その決定が待望されてゐる、なほこれによつて得た資料は證衡の上來る二十二日から三中井ギヤラリーに於てハイクと旅の展覽會を開催の上一般に紹介すべく目下本社並びに觀光協會及びビューロー、交通會社、鐵路局、三中井等主催、後援側は準備に忙殺されてゐる

國際郭家店主任の 背任横領發覺す
一萬六千餘圓の損害を與ふ

御難續きの國際運輸に又復社員の背任業務上横領事件が發覺した、公主嶺警察署司法係では去る三月中旬以來郭家店車站街番地外山梨縣生れ國際運輸四平街支店營業所主任深澤繁雄（四三）に係る背任業務上横領事件に關し取調べ中であつたが、この程調査終了したので四日附新京總領事館西見檢事事務取扱に事件を送附した

被疑者深澤は國際運輸郭家店營業所主任として傳票の監査金錢の出納、得意貸の監査、滿鐵荷物の積卸監督、金融貸出整理等に携つてゐたのを奇貨として昭和十年末より本年二月末に至るまで郭家店特產商田中末吉及自己の利益を圖る目的をもつて同社に對し總額一萬六千餘圓におよぶ損害を與へたもので、犯罪事實の概要は次の通りである

一、被疑者深澤は昭和十一年十一月末前記特產商田中の依頼により獨斷にて社金一萬五百圓の一時立替に應じ回收し得ずして結局會社に對し前記金額の損害を與へた

一、更に同年十一月より十二月に至る期間に田中の依頼に應じ六千四百卅九圓の委託貸付をなし、入金ありたる如く入金傳票を作成、結局三百九十五圓餘の損害を與へた

一、同年末より昭和十二年二月初旬まで田中と結託、自己の利益を圖る目的をもつて特產大豆の思惑資金のため獨斷にて社金を流用結局會社に對し一千八百四十二圓餘の損害を與へた

一、以上背任の外深澤は昭和十年五月中、より本年二月頃まで十數回に亘り營業所備付社金四千二百卅八圓餘を引出し、公主嶺、四平街、新京、奉天、郭家店等において飲食遊興、家事上のため消費横領してゐたものである

トラックに轢かれて 幼兒即死
きのふ晝、興安大路の慘事

六日晝過ぎ今年七つになるいたいけな子供が興安大路の路上に一人遊びの最中折から疾走中のトラックにひき殺された事件があり、幾度か警察當局の警告にも拘らず遊び盛りの子供を路上に放任する無責任極る親等に天衝動を與へてゐる、＝六日午後二時半頃原籍岡山縣、新站工務段勤務川上茂氏の一人息子淸君（七）が興安大路五〇二番地路上で春のポカポカ天氣で良い氣になつて一人遊びの最中興安橋より大同廣場に向け疾走中の祝町五丁目六番地平野工務所の無免許運輸手飄上達也（二三）の運轉するトラックにアッと云ふ間もなく下敷となり頭部を轢かれ其のまゝ即死してしまつた加害者の無免許運轉手は直ちに過失致死罪として領警署に留置嚴重取調べ中である

訪日宣詔記念 建造物着工

日滿兩國一德一心の大義を宣明せられた回鑾訓民大詔渙發を永遠に記念するため安民廣場南側に建立される訪日宣詔記念建造物の地鎭祭は去る五月二日盛大に擧行されたが、同建造物は敷地面積五萬一千二百十九萬メートル建築面積一千三百九十九平方メートル四階鐵筋建の堂々たるものである（寫眞は同建造物模型圖）

美展 東洋畫について
藤山一雄

正直に言へば日本人それ自身が偉大なる混血民族である如く、模倣、攝取、醗酵して終に世界をわがものにすることは、その文化が示す通りで今日の繪畫が專しく動轉するのも、その完成えの正確なる過程であると善解すれ制作ば氣も濟むが、余りにもその反省が足りない、感激は必要であるが、その感激を一應理智のスクリーンを通さねばならぬ、松林滿伯が「かうした試みが日本の帝展の出店の樣なものに落ち込まぬ樣心懸けて欲しい」と願はれるのは無理もないことで、此の御叱りは獨り滿洲國の畫壇のみならず、凡て滿洲國を完成させる爲めに働いてゐるものの他山の石とせねばならぬ。

さて東洋畫部を一覽して足らぬと感ずるものは畫家の學問である、學問といふのは獨り智識のみならず、人格を作り上げるもろくの修養の足りも反映して來る、例へば◯華傑氏の「桃源仙境」の如きは技巧は決してまづくはないがその構想が如何にも貧弱で作者の人生觀と稱するか或は哲學と稱するか、兎に角くその深みがない、東洋畫をものするものは畫才は勿論、相當の學問（玆では文學）あり詩情も持つて居なくてはならない、そこになると王慶准氏の「秋山行旅」は傳統から一步も踏み出し得ないし、所謂個性の閃きなるものも見出されないが、一つの異彩であつて、如何にも齊に遇賢ありの感を深くする。

◇……◇

現代の西洋畫家は到底、ダビンチやミケランゼロを凌ぎ得ない、如く日本や支那の畫家も石濤や八大山人を踏みへしぐものがないことは不思議なことであるが然しそれは事實である、それ故あらゆる畫家の焦燥努力が歪める鬱憤となつて、これが種々の新しきスクールを派生した、南畫の傳統その迫力を避けて、發明されしものが日本に於て四條派になり土佐派になり日本美術院派をつくり、ますく歪んで放庵が飛ねび出し素明が變裝して出る、然しながらこれらは悉く一時的には人目を索くが時代が經過して見ると支那畫の效果を一步も踏み出して居ないし東洋畫の莫迦女である今度の展覽會の東洋畫部を見て沒法子的な人生觀に生きる滿洲人は、即ち觀念してその傳統、殘骸の裡に化石委縮し日本人側はその型體より飛び出さんと焦燥し七轉八倒の觀を如實にして居る、考へ樣では非常に面白く、非常に悲しいことである。

然し玆で考へねばならぬことは、日本人は滿洲人の「強い傳統」を凝視し、反省する必要が充分にあるといふのは日本人は畫を描きながら焦慮し、怒り、憤つて居るが、滿洲人は傳統の恒の內に悅び樂んで居るの繪を描くことは人に觀て貰ふことでもあるが、描きながら自分で樂しむ境地でる日本の帝展、とか院展等々の所謂會場藝術に從事する勞働者達は如何にして人をたまがし、安價に感心せしむるかといふことのみを動機として制作に出發する、これも一つの方法であり過程ではあらうが、そこには大切な畫境は消滅し尊い童心が失はれる。觀る方も御苦勞なことだと先づ同情して品定めにかゝる、こんなものが藝術でらうか。

◇……◇

甲斐己八郎氏「蒙古」といふ繪が不運にも佳作の圈內を漏れ、陳列場所も不遇なところに置かれてあるが、その擬視に富める觀察、眞摯なる構圖、その無邪氣にして秀れたる技巧もさることながらそれよりも蒙古人を痛み同情せる作者の人道主義及び人生觀（或は哲學）が蒙古人の運命を嘆き、いたいけなる次ぎのゼネレーションなる子供により彼等の自然と人爲の相剋を極めて地味に表現されてゐる甲斐己八郎なる人は如何なる人か余は知らぬが最も藝術的良心に富める滿洲の有する尊敬すべき畫家の一人なりと感ずる、玆で初めて言ふが自分は此の『藝術的良心』なるものを力說せねばならぬ勿論現代のパンに迫はれる藝術家は米相場の高低、自己に對する藝術的評價、妻子の生活のこと、更に政府との關係までも甚しく氣にせねばならない樣になつて居るのであるが、それにしても先づ制作に精進し汲頭し、その過程を樂しむだけの餘裕ある世界がなくてはならない、それがなければ畫工であり、一介の勞者であつて決して「先生」の列には入れられぬ。

更に一方その藝術的良心を彼等に强いるには社會は彼等を尊敬し、愛せねばならない此のせちがらい世紀末の地上に少くも、第三の世界、人生の世界にしばしでも憩ひ、樂しましむる創造者に充分酬ひるだけの親切がなくてはならぬ、『國の品位』は機關銃や爆聯、ファショ及ナチスの模倣、或は何年計畫、能率的機構編制等々ばかりでは決して出來上らない（終り）

一人遊びさせるな 警察當局談

右に關し警察當局で左の如く子持つ親等に警告を發してゐる
先月の交通デーにも特に幼兒の路上での一人遊びを嚴重警告を發したにも拘らずそれを聞かなかつたために可愛い一人息子を失はねばならぬ樣な事になるのですから各家庭に於ても二度とこんな事故の起らぬ樣注意して頂き度無免許運轉手は勿論嚴重處罰され自動車番號はとり上げられることゝなりませう

白菊校保護者會

白菊小學校保護者會は七日午前八時三十分から開會まづ第一時、第二時間の授業を參觀同十一時から總會を開き昨年度の決算及び本年度の豫算を審議役員改選の後校長の挨拶あり終つて教育映畫を觀賞する筈である

東京音樂學校の 演奏旅行團渡滿
九月、沿線主要都市で公演

【東京國通】音樂の日滿一如兩國藝術の不可分關係確立を目指してこの度皇軍慰問を兼ねた音樂親善使節の大部隊を送ることゝなり、目下關係者の手で準備が進められてゐるが、この二百五十名に及ぶ絢爛たる大音樂使節團の新しき土への訪問は兩國文化史上に新生面を拓くものであり、その規模の雄大さ、演奏の壯麗さは早くも各方面にセンセーションを捲き起してゐる、即ち東洋音樂界の盟主東京音樂學校では「皇軍慰問、兩國の提携は音樂で」といふ主旨のもとに今年九月を期し男女全學生二百名、職員五十名を擧げて滿洲へ演奏旅行を行ふことゝなり、對滿事務局、滿鐵等に斡旋方を依頼するところあつたが、この特筆すべき企ては各方面の贊同を得、又日本文化聯盟も大いに乘氣となりこれを後援することゝなつた計畫の內容によれば來る八月卅日東京出發、まづ大連を振り出しに奉天、新京、哈爾濱等の代表的都市で大コーラスを主とし管絃樂、ピアノ、ヴアイオリン等の洋樂ならびに各種の和樂等多數の曲目を演奏することになつてゐるが奏する樂器は立琴を始めチエロその他管絃樂器全部を網羅しその何れもが音樂學校自慢の名器ぞろひであり、この運賃だけでも一千五百圓もかゝるといふ豪華さ壯麗さであるなほ旅程は大體三週間の豫定であるが歸途朝鮮の京城、平壤兩地で同樣公演することゝなつてゐる

臨時列車で乘込む 大量紳士視察團
十二、十四日賑やかに來京

續々國都に押寄せて來る內鮮方面からの各種視察團は學校修學旅行團、皇軍慰問團等々色綠々でいよく本格的觀察旅行のシーズンに入つたが來る十二、十四日の兩日は臨時列車を編成した大量紳士旅行團が來京、いづれも新京一流旅館に分宿する二團體がありこの旅行團が本シーズンにおける視察團の豪華版ともいはれてゐる、その一つは大阪日本旅行協會主催滿鮮視察團一行百二十名で臨時列車で來る十二日午後一時到着、一泊の上十三日午後零時半發臨時列車でハルビンに出發、もう一つは千葉運輸事務所、東京日本旅行協會合同主催の視察團一行百七十名が前記旅行團と入替りに十四日午後一時五十分着臨時列車で南滿から乘り込み新京一流ホテルに分宿、市內見學をなして翌十五日午後十時半發臨時列車でハルビンに赴く豫定である

開會以來連日の盛況 宣詔展一日延期

訪日宣詔記念美術展覽會は國都空前の大豪華展覽會とて滿洲文化史上に不朽の金字塔を打樹てつゝさる二日の開會以來連日超滿員の盛況を續けてゐるが、會期は豫定によれば八日までにて一日を餘すばかりとなつたが、なほ各方面の要望により九日まで延期することゝなつた

朝鮮東岸一帶に暴風 漁船の被害大

【京城國通】去る三日正午頃より四日にかけ、朝鮮の日本海沿岸一帶に風速二十米の暴風襲來、江原道襄陽郡下においては出漁中の漁船六十餘隻をはじめ、その他各郡にわたつて行方不明の漁船多數に上り、更に成鏡南道においても出漁中の船舶の被害は甚大に上る見込みで、各當局では夫々救助船を出動搜査につとめてゐる

故畑平俊治伍長 けふ告別式

下條部隊の畑平俊治伍長（原籍和歌山縣西牟婁郡長野村一〇三八）は嚢て病爭加療中のところ藥石効なく遂に死去した、同氏は下士官候補として將來を囑望されてゐた人材であつた、上條部隊では七日午後四時營庭に於て告別式を執行する

抽古四五六號 狂奔して斃る

新京競馬春季第一次優勝レースを目前に控へ競馬ユニアの熱戀々高まりつゝある折柄四日午後四時頃教調のため引馬中抽古四五六號突然物音に驚いて暴れ出し馬夫の不注意より廟會前の電柱支への針金に前脚を引掛け打倒れた際致命傷を負ひ管理者の應急手當も甲斐なく翌朝遂に斃れた、愛馬の赴報に添く打沈んだ馬主木名瀬西之介氏は左記の如く語る

四五六號は曾てオリムピックの歸途遊佐少將閣下より御褒を賜つた馬で滿洲產馬としは珍らしい立派な體格をして居りました、今年六歲で將來の優勝を樂しんで居りましたが可哀想な事をしました、今まで種々の故障で各レースにファンの方々に御期待を御掛けする事が出來ませんでした今年は吃度と云ふ時に斃れてしまひ實に殘念に思ひます

東京大相撲 初日番組

【東京國通】大日本相撲協會夏場所はいよいよ七日を初日として向う十三日間華々しく興行されることになり、六日は午前十時から恒例による土俵祭を木村庄之助行司主催の下に擧行、終つて十三組に分れた觸れ太鼓が都大路を觸れ廻つた

東	西	東	西
磐城	千葉昇	鹿島洋	嶺嶽
白鷺	若潮	小戸ヶ岩	北海
八幡	常陽山	源氏山	綾錦
小松山	神威山	小島川	陸奥錦
國光	龍王山	筑波嶺	天城山
神武山	富士岳	錦華山	富野山
安藝海	加古川		
中入後			
三熊山	松浦潟	新海	幡瀨川
番神山	駒の里	前田山	笠置山
金湊	羽黒山	九州山	鯱の里
大浪	太刀若	桂川	兩國
星甲	楯甲	玉の海	五つ島
大八洲	青葉山	和歌島	旭川
名寄岩	綾若	大邱山	海光山
防長山	射水川	出羽湊	鏡岩
大潮	綾昇	綾川	淸水川
巴潟	高登	双葉山	土州山
玉錦	磐石		

なほ武藏山、男女川、松前山は病氣のため休場

プレンソーダ

首都警察廳の村上搜査股長の話にすると「我輩は寢るのも一つの仕事でね」と言つてこの眠ることが決して仕事をさぼる意味のものではない御職掌柄不時の突然事件に直面して余裕綽々の頭腦的活動をなさんための眠りであつて毎晩十時に就床すると何の雜念もなく十分間前後で深い眠りに陷るといふ▼「ところが我慢とてやはり人間の類だよ妙に眠れない夜があるね、仕方ないその時は最期の常備藥を呼る」「ほゝ催眠藥でも」「まあそんな所だね」と紙をとり出しサッと書いて見せたのが何んと「酒二合」と言ふ妙藥だつた

新京區公示第八號

范家屯區公示第三號

新京區並范家屯區附屬地區長左記の通指名せり

昭和十二年四月一日

南滿洲鐵道株式會社新京事務局地方課長 田中弘之

擔當區域	就任年月日	國籍	住所	職業	氏名
新京區 富士區	昭和十二年四月一日	日本	新京富士町四丁目二六	特產	寺中精[illegible]
三笠區	同	同	新京三笠町三丁目一一	洋服商	[illegible]
吉野區	同	同	新京吉野町二丁目一二	料理	[illegible]竹三郎
入船區	同	同	新京三條通四〇	貿易	淺井庄一郎
日本橋區	同	同	新京日本橋通一六	請負	宇野常[illegible]
西廣場區	同	同	新京錦町二丁目七	齒科醫	早川武夫
朝日區	昭和十二年四月一日	日本	新京老松町三丁目二	請負	天野恒太郎
白菊區	同	同	新京菖蒲町四ノ三ノ五	滿鐵社員	宮木傳吉
鐵北區	同	同	新京住吉町二丁目一	製材	小松[illegible]
中央區	同	同	新京蓬萊町一丁目六	請負	柴田[illegible]
祝町	同	同	新京東五條通一三	特產	穴澤喜壯[illegible]
范家屯區 日本人側	昭和十二年四月一日	日本	范家屯大門町二號地	特產	橋本徳三郎
滿人側	同	滿洲國	范家屯南大通二六	同	玉[illegible]光

戀慕髑髏組 （八十二）

林杢兵衛 映畫化／上演
金子士郎 畫

人か魔か（四）

「それならいゝが……いや、大きに厭な思ひをさせて濟まなかつた。氣にしないでおくんなせえよ」

荒之助を立たせた茂十は、親のお崎を呼んだ。お崎は目を眞ッ赤に泣き腫らして見るもいたましい程である。

「本當に氣の毒だなア、俺も出來ることなら一日も早く下手人を擧げて、仇敵をとつてやりてえと思つてゐるんだ」

「有難う御座います。私はもう其奴が捕まりましたら、八ッ裂きにもしたい位で御座います」

「無理もねえと思つてゐる。なんださうだな、あの娘を信濃屋へ嫁入らせるてえ前に、他へやる話もあつたてえ事だが本當か？」

茂十は、凝つとお崎の顔色を見守つてゐる。でつぷりと肉附のいゝ下ぶくれな顔に豫期の情を漲らして、手答へあれかしと念ずるやうに。

「……」

無言でちらと、上目使ひに、茂十の顔を盜み見したお崎は、明らかに返事に困つて居る樣子。それと見て取つた茂十は、頭からたゝみかけた。

「その話の相手てえなア、何處の誰だつたな？」

巧みな誘導訊問に、お崎は一とたまりもなく籠絡された。

「それは、極く内輪だけの話で御座いました。今度の事件にはまつたくなんの關係もないやうに思はれますが……」

「さうかも知れんが、その男と云ふのは？」

「はい、實は私の甥に當る者で御座います。死にました姉の子で幼さい時から引とつて、つい此の間まで一緒に暮してゐましたが……」

「するてえと、娘さんとはつまり從兄妹同志になる譯だなア」

「左樣で御座います」

「それで、行く行くは二人を一緒にするやうな話でもあつたのか？」

「主人はそのやうに申して居りましたが、それでは私が何んだか身内を引入れるやうで、心苦しいもので御座いますから、あんまり乘り氣が致しませんでした。それでまア話はそのまゝ本人達にも云はないうちに、沙汰止みとなつたやうな譯で御座います」

「甥御さんはその話を知つてやしなかつたかい？」

「さア、一緒に暮してゐたことですから、薄々は氣がついてゐたかも知れませんが、取り止めになつたからと云つて、怨むのどうのと云ふやうなことは決してありません」

「それぢや、甥御さんはどうして別居するやうになつたんだ？」

「……」

「甥御さんは何んだらう、矢ッ張り自分が一緒になれると思つてゐた娘が、祝言をすると聞いたので、面白くなく、それで……」

茂十は、痛いところを刺したつもりだ。お崎は周章てそれを否定した。

「いゝえ、決してさう云ふ譯ではありません。今度の話とはまつたく關係なく、あれは本來金銀飾り物の細工師でその方を專門に一本立になりたい――と云ふもので御座いますから、主人が店を借りてやりましたので御座います」

「何處へ店を借りたんだ？」

「下谷の坂本二丁目で御座います。表通りを一寸引込みました處で、金銀飾物細工師人形屋梅松と云ふ看板を出して居りますが、何か梅松が此の事件に關係でもあるので御座いませうか？」

と、心配さうなお崎の顔。